

社会福祉法人博友会 令和6年度 事業報告

目 次

・ 法人の概要	2
・ 社会福祉法人博友会	4
・ 特別養護老人ホーム白雪	6
・ 特別養護老人ホーム高砂	13
・ フジ高砂クリニック	17
・ 特別養護老人ホーム・高齢者住宅なでしこ	18
・ 特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん	24
・ すずらん鍼灸治療院	27
・ ケアハウスやまぼうし.....	28
・ 社会福祉法人博友会指定地域密着型通所介護事業所.....	32
・ 特別養護老人ホームふじあざみ	36
・ とらのこ保育園	41
・ 菜の花こども園	45
・ 高嶺の森のこども園	49

法人の概要

法人名 社会福祉法人博友会
住 所 静岡県御殿場市川島田字南原270番地

第一種社会福祉事業	特別養護老人ホーム	白 雪	(定員120名)
	特別養護老人ホーム	高 砂	(定員 80名)
	特別養護老人ホーム	なでしこ	(定員 29名)
	特別養護老人ホーム	すずらん	(定員150名)
	ケアハウス	すずらん	(定員100名)
	ケアハウス	やまぼうし	(定員 60名)
	特別養護老人ホーム	ふじあざみ	(定員100名)
第二種社会福祉事業	短期入所生活介護	白 雪	(定員20名)
	デイサービスセンター	白 雪	(定員30名)
	デイサービスセンター	高 砂	(定員15名) 休止中
	短期入所生活介護	百 寿	(定員22名)
	とらのこ保育園		(定員90名)
	地域子育て支援拠点事業	プチとらパーク	
	とらのこ保育園	一時預かり事業	
	短期入所生活介護	すずらん	(定員30名)
	デイサービスセンター	すずらん	(定員30名)
	社会福祉法人博友会指定通所介護事業所		(定員15名)
	菜の花こども園		(定員90名)
	地域子育て支援拠点事業	なのはなパーク	
	菜の花こども園	一時預かり事業	
	短期入所生活介護	ふじあざみ	(定員20名)
	デイサービスセンター	ふじあざみ	(定員20名)
	高嶺の森のこども園		(定員90名)
	地域子育て支援拠点事業	もりのこパーク	
	高嶺の森のこども園	一時預かり事業	
公益事業	白雪居宅介護支援センター		
	高砂居宅介護支援センター		休止中
	フジ高砂クリニック		
	サービス付高齢者向け住宅なでしこ		
	すずらん鍼灸治療院		
	すずらん託児所		休止中
	社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所		

沿 革

平成 17 年	2 月	法人設立認可
平成 18 年	1 月	特別養護老人ホーム白雪 設置認可
	2 月	特別養護老人ホーム白雪 開設 (定員：入所 120 名 ショートステイ 20 名 デイサービス 15 名)
平成 19 年	4 月	デイサービスセンター白雪 定員 30 名に増員
	6 月	白雪居宅介護支援センター 開設
平成 22 年	4 月	とらのこ保育園 開設 (定員 90 名) 短期入所生活介護百寿 開設 (定員 44 名)
平成 23 年	5 月	特別養護老人ホーム高砂 開設 (定員：入所 80 名 デイサービス 15 名) 高砂居宅介護支援センター 開設 フジ高砂クリニック 開設
平成 24 年	5 月	地域密着型特別養護老人ホームなでしこ 開設 (定員 29 名) サービス付高齢者向住宅なでしこ 開設 (定員 53 名)
	9 月	特別養護老人ホームすずらん 開設 (定員：入所 150 名 ショートステイ 30 名 デイサービス 30 名) ケアハウスすずらん 開設 (定員 100 名)
平成 26 年	4 月	障害者短期入所事業所白雪 開設
	6 月	障害者短期入所事業所百寿 開設
	8 月	すずらん鍼灸治療院 開設
平成 27 年	4 月	ケアハウスやまぼうし 開設 (定員 60 名) 山中湖診療所 開設
	5 月	すずらん託児所 開設 (定員 12 名)
	8 月	山中湖診療所が平野診療所として移設
平成 28 年	4 月	すずらん託児所 定員 15 名に増員 社会福祉法人博友会指定通所介護事業所 開設 (定員 15 名) 社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所 開設 菜の花こども園 開設 (定員 90 名)
平成 29 年	2 月	平野診療所 医療法人社団青虎会へ移管
令和 1 年	4 月	障害者短期入所事業所白雪 廃止 障害者短期入所事業所百寿 廃止
令和 1 年	6 月	障害者基準該当生活介護事業所白雪 廃止
令和 3 年 11 月		特別養護老人ホームふじあざみ 開設 (定員：入所 100 名 ショートステイ 20 名 デイサービス 20 名)
令和 4 年	8 月	ふじあざみ寮 開設
令和 5 年	3 月	デイサービス高砂 定員 10 名に変更 すずらん託児所 休止
	4 月	高嶺の森のこども園 開設
	11 月	デイサービス高砂 休止
令和 6 年	7 月	高砂居宅介護支援センター 休止

法人事業報告

令和6年 5月30日	監事監査 (業務) 業務執行状況について監査実施 (会計) 財産状況について監査実施
令和6年 6月 3日	理事会
報告事項	・ 理事長専決事項の報告 ・ 監事監査報告
決議事項	・ 令和5年度事業報告並びに計算書類等の承認の件 ・ 社会福祉充実残高の算定の件 ・ 会計監査人の報酬の件 ・ 定時評議員会の招集の件
令和6年 6月17日	評議員会
報告事項	・ 理事長専決事項の報告 ・ 監事監査報告
決議事項	・ 令和5年度事業報告並びに計算書類の承認の件 ・ 社会福祉充実残高の算定の件 ・ 会計監査人の選任の件
令和6年 11月21日	監事監査 (業務) 業務執行状況について監査実施 (会計) 財産状況について監査実施
令和6年 11月21日	理事会
報告事項	・ 理事長専決事項の報告 ・ 監事監査報告
決議事項	・ 令和6年度第一次補正予算の件 ・ 短期入所生活介護百寿の一部用途変更の件 ・ 評議員会の招集の件
令和6年 12月 5日	評議員会
報告事項	・ 理事長専決事項の報告 ・ 監事監査報告
決議事項	・ 令和6年度第一次補正予算の件 ・ 短期入所生活介護百寿の一部用途変更の件

令和7年 3月13日	理事会
報告事項	・理事長専決事項の報告 ・事業所指導報告
決議事項	・令和6年度第二次補正予算の件 ・令和7年度事業計画の件 ・令和7年度当初予算の件 ・施設の長の任免の件 ・評議員会の招集の件

令和7年 3月27日	評議員会
報告事項	・理事長専決事項の報告 ・事業所指導報告
決議事項	・令和6年度第二次補正予算の件 ・令和7年度事業計画の件 ・令和7年度当初予算の件 ・施設の長の任免の件

特別養護老人ホーム白雪 事業報告

1. 利用者の状況

令和7年3月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)白雪

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	1	2	38	39	13	93	3.7	2
裾野	0	0	3	9	2	14	3.9	0
その他	1	0	6	2	2	11	3.3	0
合計	2	2	47	50	17	118	3.7	2

●短期入所生活介護(ショートステイ)白雪

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	17	11	14	8	4	54	2.5

●通所介護(デイサービス)白雪

介護度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	6	6	9	29	13	8	5	1	77	1.5

●居宅介護支援センター白雪

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	5	4	45	30	16	13	4	117	1.9

●短期入所生活介護(ショートステイ)百寿

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	1	6	11	10	7	1	36	2.5

2. 利用者・家族との連携

利用者に快適な生活をしていただくために、利用者本人はもとより、利用者家族に施設へのご理解をいただき、また、率直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

●外出・外泊状況

感染対策のため実施なし

●面会の状況

月別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
白雪	60	85	101	63	100	98	82	92	108	96	140	172	1,197	99
百寿	3	3	6	7	8	5	5	2	4	4	3	2	52	4
計	63	88	107	70	108	103	87	94	112	100	143	174	1,249	104

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域との交流を図るため、従来は地域交流スペースの地域開放を積極的に行っているが、感染予防のため、地域交流スペースでの集まりを控えた。

4. 情報公開の取り組み

事業報告書、決算書、事業計画書、予算書をHPに公開するとともに、受付にて回覧に供している。『白雪新聞』を請求書送付の際、ご家族に向けて同封している。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前及びデイルーム前にご意見箱を設置。 ●事業所別

令和6年度 ご意見箱件数 0件

	特養	短期	通所	百寿
口 頭	2	2	0	0
電 話	0	2	1	4
連絡帳	0	0	1	0

6. 主な年間行事

外出する機会を増やすことや、家族と一緒に楽しめ、又、地域参加型の行事計画に努めた。

月	行 事 内 容
6	さつき展・朝日小交流会
7	バーベキュー（各ユニット） 七夕（各ユニット）
8	納涼祭準備
9	26日 納涼祭 敬老会（各ユニット）
10	秋の行事（各ユニット）
11	文化展（作品鑑賞月間）
12	15日 クリスマス会（各ユニット） 21,22日 餅つき大会（各階で開催）
2	1日～21日 開設記念行事写真撮影

※各ユニットにて日々のレクリエーションを実施

7. クラブ活動の状況

従来、クラブ活動指導員（ボランティア）による様々なクラブ活動を定期的に行っているが、感染対策のため中止した。

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、介護長、主任、事務長、ユニットリーダー、百寿、デイ、看護師、栄養課、
営繕の各リーダー

開催日	主 な 議 題
毎 回	・コロナ感染対策 ・事故報告 ・各部署連絡事項
4 月 12 日	・新年度リーダー業務（役割・預り金等） ・人事異動、職員体制 ・新年度書類提出の説明 ・面会について ・実習予定日程 ・施設見学会
5 月 10 日	・面会（面会室）説明 ・カンファレンス・ユニット会議について ・トイレ改修工事
6 月 14 日	・事故対策 ・安全運転対策 ・みくりや安心ねっとについて
7 月 12 日	・節電について ・体操教室について ・実務者研修について
8 月 9 日	・夜勤者検診 ・自己申告表について
9 月 13 日	・ユニットケア勉強会について ・アニマルセラピーについて ・入居者検診
10 月 24 日	・電気設備の停電検査
11 月 8 日	・年末調整について ・年末年始大掃除
12 月 13 日	・預かり金、教養娯楽費の管理について ・食費料金の改定について
1 月 10 日	・朝食の形態変更について ・ゴミの分別について
2 月 14 日	・各委員会のマニュアルの見直し ・ユニットリーダー登用試験
3 月 14 日	・来年度に向けての準備 ・年度末の預かり金、教養娯楽費の締め

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月 1 回

出席者：各ユニット・部署職員

主な議題：多職種参加のカンファレンス内容をユニット職員で共有し、統一したケアができるように会議を開催、ユニット業務の見直し、改善を検討。

9. 外部研修参加の状況（外部・オンライン研修）

月 日	内 容	職 種	人数
5 月 30 日	障害者歯科について	歯科衛生士	1
6 月 4 日	衛生講習会	管理栄養士	1
8 月 7 日	安全運転管理者等講習会	安全運転管理者	1
8 月 21 日	福祉・介護施設職員向け感染症対策研修会（対応訓練）	介護員	2
8 月 27 日	在宅医療・介護連携推進研修会	介護支援専門員 相談員	4
9 月 9 日	福祉・介護施設職員向け感染症対策研修会（施設内学習）	看護師	1
9 月 9 日～ 11 日	全国個室ユニット型施設推進協議会 ユニットリーダー研修会（みくらの里、特養ニューバード）	介護員	2
9 月 30 日	福祉・介護施設職員向け感染症対策研修会（管理者向け）	施設長	1
11 月 1 日	衛生・栄養管理研修会	管理栄養士	1
11 月 19 日～ 21 日	全国個室ユニット型施設推進協議会 ユニットリーダー研修会（第二長上苑）	介護員	1
12 月 7 日	地域包括ケアフォーラム「認知症住み慣れた街で」	介護支援専門員	1
2 月 20 日～ 3 月 13 日	高齢者権利擁護等推進事業「身体拘束廃止フォーラム」	相談員・介護員	4

10. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染対策	・施設内の感染防止のための計画立案 ・施設内教育(勉強会2回開催)・加湿器の設置・管理 ・感染予防の為の環境整備とマニュアルの実施	毎月 定期委員会 4月 食中毒ポスター作成 ・6月勉強会準備 ・リビング加湿器回収 5月 食中毒ポスター掲示 ・6月勉強会準備 ・感染対策備品チェック ・感染対策シミュレーション打合せ 6月 勉強会「夏季感染」「ガウンテクニック」 ・マットレス天日干し書類準備 ・感染対策シミュレーション打合せ 7月 百寿・デイ、シミュレーション実施 ・マットレス天日干し開始・状況確認 8月 天日干し状況確認 9月 入所・ショート、シミュレーション実施 天日干し状況確認 10月 入所シミュレーション実施 勉強会準備 冬季感染予防ポスター作成・掲示 11月 各ユニット加湿器配布 チェックリスト配布 勉強会「介護施設向けの感染対策研修症」 12月 インフルエンザ・ノロウイルス職員へ予防 注意喚起 各ユニット加湿器清掃チェック 1月 全加湿器清掃確認、フィルター発注入荷 2月 加湿器清掃チェック 本年度振り返りアンケート配布 3月 加湿器清掃チェック・年間振り返り	・勉強会は、感染症発生時に装着するガウンテクニックの着脱方法を行った。脱ぎ方の順番や方法を実際してみると分からなくなってしまうが、再確認できた。 ・コロナウイルスとインフルエンザが時々発生したが、何度も隔離の経験をしたので準備や行動で慌てることなくできた。 ・感染発生時のシミュレーションについては、百寿・ディサービス・ショート・入所各2回ずつ行った。(発生時の情報収集。ゾニング)シミュレーション開催後、アンケートを集計し反省点不明点を復習した。 ・感染予防の為、各ユニットのリビングに1台加湿器を設置した。フィルターが損耗している物は交換。予備購入する。
事故対策 抑制禁止	妨げる事故を防止する。その為の情報の共有と勉強会を開催する。事故の発生時には、迅速に対応し再発防止に努める。	毎月 定期委員会 4月 緊急事故対策会議・タッチコール・L字バー一点検管理・各ユニットのヒヤリハット対策用紙回収・確認。 5月 勉強会のテーマ・内容検討 6月 購入書籍の選定 7月 新規書籍購入。勉強会予演会 8月 書籍回覧について。勉強会 9月 書籍回覧開始 10月 毎月の活動。安全チェックリスト 11月 勉強会テーマ・内容の検討 12月 1月勉強会内容完成・予演会 1月 勉強会「事故が起こる前に出来る事」 2月 書籍回覧まとめ 反省アンケート配布 3月 1年の反省	・ヒヤリハットの提出が遅いところがあり、集計がしづらい。次年度はヒヤリハットをしっかりと記入する、回覧して提出する。その流れを各部署に徹底してもらえるように働きかける。 ・委員会のメンバーを研修等に参加させてほしい。 ・備品の確認を毎月できるようにになった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
広 報	白雪の話題や日々の様子をお伝えする。	毎月 定期委員会 4 月 リーダー写真撮影・コメント用紙配布 5 月 ユニット紹介完成・面会時にご家族用のユニット紹介を置く。リーダー＆ユニット紹介掲示 6 月 請求封筒に白雪新聞同封「リーダー紹介」・各ユニットコメント用紙配布 7 月 新聞同封「バーベキュー・七夕関連・ユニット紹介」各ユニット紹介コメント締切 8 月 新聞同封「お誕生日献立・ユニット紹介」フォトコン依頼 9 月 フォトコン応募 10 月 新聞同封「小山町長表敬訪問・白雪秋祭り・白雪レストラン」 感染症対策のため委員会中止 11 月 感染の関係で新聞発行せず 12 月 感染の関係で新聞発行せず 1 月 新聞同封「新年挨拶・クリスマス会・」 2 月 新聞同封「アニマルセラピー・白雪レストラン」 3 月 1年間の反省	・フォトコンテストは、イベントが少なく、応募数がのびなかった。来年は春からフォトコンに向けて動き出すようにしたい。 ・感染で面会が制限された時などに記事にできるようなことを、ストックして、毎月新聞発行をできるように考えていきたい。
行 事	白雪、百寿をご利用されている皆様とその御家族様に、行事を通じて季節の移り変わりを感じていただき、生活に張りをもち豊かに過ごしていただく。	毎月 定期委員会 4 月 雛人形片付け 5 月 人形飾付け 5 月 人形片付け 6 月 さつき展・朝日小交流会中止 七夕・納涼祭について 7 月 バーベキュー開催(各ユニット) 七夕行事反省・納涼祭(各ユニット) 8 月 納涼祭準備 9 月 敬老会(各ユニット) 10 月 文化展・クリスマス会・餅つきについて 11 月 文化展(作品鑑賞月間) 朝日小交流会中止 12 月 クリスマス会(各ユニット)、 餅つき大会(各階にて) 1 月 新春行事(各ユニット) 2 月 第 18 回開設記念 3 月 一年間の反省開催	・今期は感染症の心配もありながら、徐々に例年通りの行事計画・実施をしてきた。しかし、季節行事の大きな行事だけ復活というイメージで終わった。来季に向けては細かな行事も少しずつ復活させて実施して行く。 ・感染症もひと区切りついた感があり外部も入れた規模の大きな催しに戻していく。実際、来期は納涼祭での外部受け入れを予想している。今期はさらに上役職員の協力を得ながら進めて行きたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
安全衛生	職場における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を促進する。	毎月 作業環境管理点検、給食従事者の検便、雇用時健康診断、定期委員会 4月 作業環境管理担当者の決定 5・6月 作業環境管理点検 7月 利用者健診準備・夜勤者健診準備 8月 利用者健診、夜勤者健診実施 9月 作業環境管理点検 10月 利用者健診実施(10/25) 勉強会「生活習慣病予防について」 11月 作業環境管理点検・下駄箱清掃 12月 入居者健診実施(12/2) 1月 職員健診準備 2月 職員健診・ストレスチェック実施 1年間の反省・アンケート実施 3月 活動報告	・作業環境管理の為に点検がしっかりできた。 ・毎月1日に下駄箱清掃を当番制で行った。
身体拘束禁止・虐待防止	・抑制をしないケアを実施し、介護サービスの質の向上を図る。 ・虐待防止を徹底し、虐待が発生しないように努める。	毎月 委員会開催 4月 運営規定・指針確認 5月 勉強会グループ分け・準備 6月 高齢者虐待アンケート準備・配布 7月 高齢者虐待アンケート集計 8月 感染拡大防止の為中止 高齢者虐待アンケート準備 9月 勉強会「高齢者虐待・身体拘束を知ろう」 高齢者虐待アンケート配布 10月 高齢者虐待アンケート集計 11月 感染拡大防止の為中止 12～2月 勉強会準備 2月 感染拡大防止の為中止 3月 1年間の活動振り返り	・集まりが悪く、勉強会の資料確認がうまくできなかった。 ・アンケートの集まりが悪く、集計に時間がかかってしまった。
教 育	職員の教務上必要な知識・技術の向上を図る。 施設内外の発表を積極的にを行い、職員のスキルアップに繋がるように勉強会や研修会を企画する。	毎月 定期委員会 4月 準備期間 5月 勉強会予定確認 6月 ノロウイルス関連・嘔吐物処理方法 7月 事故防止対策の第一歩ひやりハット 8月 食中毒の予防 9月 高齢者虐待・身体拘束を知ろう 10月 生活習慣病予防について 11月 施設における感染症について 12月 看取りケアについて 1月 事故発生から事故対策会議までの流れ 2月 身体拘束禁止、高齢者虐待防 3月 来年度のデータ更新	・勉強会の内容によって関心度が高い内容があり、職員からの感想も多く寄せられた。 ・勉強会で再確認ができたと言う意見が多かった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
給食・嚥下	・利用者様に合った食事内容の見直し、衛生管理の指導。 ・嚥下・摂食障害への対応や予防について助言指導・啓発	毎月 定期委員会・冷蔵庫チェック・白雪レストラン(献立表)発行・誕生日献立・行事献立考案 4月 委員会開催の時間帯アンケート実施 5月 ST 評価実施について 6月 通常活動 7月 勉強会(内容検討・準備) 8月 勉強会発表 9月 通常活動 10月 感染症対策のため中止。 11月 誕生日献立より茶碗蒸し再開 12月 嗜好調査(内容検討) 朝食のおかずパック提供開始へリーダー会議で説明 1月 嗜好調査(準備) 2月 次年度計画 嗜好調査(実施集計) 3月 今年度反省 嗜好調査(結果配布)	・出席率が低い、昨年度より評価と委員会を別日に分けて実施。以前より出席率が上がった。 ・今年度よりSTとの兼ね合いで毎月評価必要に応じて評価依頼、実施日確定に変更。看取りの方や専門的な説明が必要な方など多職種と相談しながら対象者を絞って対応できた。また、できる限り早く評価できるように調整した。 ・朝食内容を変更するにあたり、事前に色々と準備し、問題なくスタートを切ることができた。その後も個別に対応して、色々な部署と相談しながら、現状維持している。 ・勉強会は久々の対面で、ユニットの実例を踏まえた内容だったので質問等もあり内容が伝わった。
防 災	・火災等人的災害の予防と地震・風水害・雪害等の自然災害時の救助および、被害の軽減を図る。 ・生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を認識する。	毎月 定期委員会 4月 新人職員に避難経路図・初期消火の対応資料配布 5月 消火器・消火栓取り扱い訓練 6月 避難搬送訓練 7月 情報伝達訓練(招集訓練) 8月 簡易防災用品を作ってみよう① 単三電池から単一電池へ変身 9月 防災倉庫場所確認 10月 救急救命講習 11月 総合防災訓練 地震発生後火災発生を想定し情報収集・伝達・避難・搬送訓練 12月 簡易防災用品を作ってみよう② 断水・停電時の対応方法の指導&簡易ランタン 1月 富士山噴火時の対応 噴火時の被害の想定(災害マップ参照) 2月 火災発生を想定した図上訓練 3月 簡易防災用品を作ってみよう② ゴミ袋ヤッケ作成、小型発電機試運転	・停電時の電源確保のため、非常用小型発電機を1台追加購入した。まだ不足と思われるので、もう1台追加を検討したい。 ・自主定期点検の徹底 ・LED 投光器購入の検討 ・非常食確保・管理 ・地震時家具転倒防止の検討 ・水運搬方法の検討 ・非常階段の塗装実施
園芸・飼育	花の管理とひつじの飼育	・月～土 飼育小屋周辺清掃 ・毎月 定期委員会 施設周辺の花管理 4月 花壇種まき 5月 羊の毛刈り 6～9月 施設周辺の管理 10～3月 施設周辺の管理・清掃	・飼育小屋周辺の清掃・餌やり・施設周辺の花管理は、毎日行った。

特別養護老人ホーム高砂 事業報告

1. 利用者の状況

令和7年3月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)高砂 平均在所期間 4年6ヶ月

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
沼津	0	2	17	19	15	53		3
御殿場	0	0	2	1	0	3		0
裾野	0	0	2	0	0	2		0
長泉	0	0	1	0	0	1		0
三島	0	0	0	1	0	1		0
その他	0	1	4	3	2	10		1
合計	0	3	26	24	17	70	3.74	4

令和6年度に退所した利用者は24人(定数の3割)もあり入所手続きがこのスピードに追い付いて行けなかったという状況であった。また、12月に新型コロナ感染が全4ユニットのうち2ユニットに発生したため新規入所の受け入れが1か月程度できない状態であった。

令和7年度は新規入所時の手続きの一部簡素化などにより、スピード感をもって活動して行く。

2. 利用者・家族との連携

令和5年11月頃より窓越し面会を廃止し施設内での短時間面会をクリニック添田院長のアドバイスを頂きながら実施してきた。看取り対象者のご家族には入口からユニット内へご案内し面会して頂いている。昨年度に比べて面会数は増加した。

3月より居室内での面会をスタートしている。面会中であれば、近隣の散歩もして頂いている。中学生以下は居室内に入るのはご遠慮いただいているため、散歩中であれば多くのご家族とお会いすることが可能としている。ご家族には好評で面会も多く来ていただいている。感染対策が重要ではあるので十分に注意していきたい。

面会の状況

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	50	1.7	10	46	1.5
5	41	1.3	11	51	1.7
6	41	1.3	12	36	1.2
7	32	1.0	1	22	0.7
8	36	1.2	2	30	1.0
9	51	1.7	3	40	1.3
			合計	476	1.3

※月平均面会件数 39.7件

3. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見投稿件数 0件

4. 主な年間行事

本年度も昨年に引き続き近隣の公園に散歩に出かける、桜の時期に公園へ行くなどの簡易的な外出を含め、ユニット内で行事計画を実施した。多くの実習生を受け入れることで学生との交流の機会を増やすことができ、利用者様に楽しんでいただけた。共通での思い出作りとして、餅つき・運動会など施設内で完結できる行事としたが、餅つきに関しては感染症の影響により3月に延期した。そのほか、今年度からの試みとして不定期での開催ではあるが、旧デイルームを活用し、入居されている方の満足度を高めるため高砂サロンを開催している。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	お花見（公園への散歩へ変更）	10	高砂サロン ハロウィンパーティー（各ユニット）
5	創立記念バーベキュー	11	写真展
6	1F 運動会 2F 運動会 梅干し作り（高砂サロン実施）	12	クリスマス会（各ユニット） （コロナのため一部中止）
7	花火大会・スイカ割り・フロア単位 での縁日開催（各ユニット）	1	初詣、書初め、餅つき（コロナのため一部 中止）
8	流しそうめん（各ユニット）	2	豆まき バレンタインチョコフォンデュ
9	敬老会（各ユニット）	3	文化展 餅つき（1月の代替として実施）

5. クラブ活動の状況

外での活動も徐々に増えており、営繕スタッフと共同で敷地内に畑を作っている。里芋やサツマイモなども収穫し利用者様に楽しんでいただくことができた。

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
体 操	1	42	書 道	1	36
脳 ト レ	1	42	壁画制作	2	12
カラオケ		40			

6. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2木曜日

出席者：施設長、院長、介護長、ユニットリーダー、デイ、看護師、栄養士リーダー、機能訓練指導員、クリニック、相談員、計画作成者

●カンファレンス・ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回（第1～第4水曜日）

出席者：各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士、計画作成者

主な議題：個々の利用者様の状態について多職種の意見も聞く中で、よりその人に合ったケアを目指して意見交換を行った。

●介護職員ミーティング

年度末に開催している。年間の反省や次年度への課題を実施。コロナが数回出ていたので全職員に再度ガウンテクニックの周知をするとともに、3月からの面会規制を緩和したことによる、クレーム対策として接遇面や施設内清掃の重要性を伝えた。

7. 外部研修参加の状況

一部外部研修を実施。新たに接遇の研修会へ2名参加。2名はサービス向上委員会の指名による。また褥瘡予防の研修についても、排泄褥瘡委員会の指名により参加している。参加者は研修後に対面での勉強会を開催し、他の職員への教育も担っている。引き続き研修ソフトにて、Eラーニングによる勉強会を行った。特性に合わせ研修プランを適宜変更しながら1年間実施し、管理職が研修状況について管理をしている。研修の受講率は約60%ですべての受講を完了している職員もいる。

介護福祉士受験者が令和6年度該当者なしだったため、介護福祉士は増加していない。

8. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染衛生	労働安全法に基づき職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。 施設内感染予防対策の計画、職員研修等を実施する。	・感染予防の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断実施 ・利用者の健康診断の実施 ・職員研修については教育ソフトを活用して実施した。 外部研修にも参加した。コロナクラスター時には系列施設職員が来所し実際のガウンテクニックを一緒にやる事でガウンテクニックについて周知することができた。	・感染症に対する知識を職員へ周知徹底していく。 ・腰痛予防やメンタルヘルス対応も行っていく。 ・1月に感染症が発生しているためその際の内容をまとめて介護職員ミーティングで実際に行ってもらっている。 計画的にガウンテクニックの振り返りを実施していくことが望ましい。
広報・PC	施設の活動内容をご家族、地域の方々に広く周知する。 職員のパソコン技術向上を図る。	・毎月の高砂新聞の発行	・新聞の定期的な発行ができた。今後も内容を充実させ発信していく。 ・PC技術向上の為勉強会開催。 ・事務所を通じて時期に併せてご家族様への新聞の配布を行うことができた。
給食	栄養課業務の改善及び給食の内容充実を図る。	・給食だよりを毎月発行 ・行事メニューの策定 ・実施献立の反省 ・嗜好調査	・給食だよりの発行は定期的にてできた。 ・実施献立の反省を食事提供に反映できるようにする。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
抑制・事故対策	安全でその人らしい生活を支援できるよう介護体制を確立する。事故防止の為危険予知や危険を回避する能力を身につける。身体拘束について理解を深め見えない拘束を廃止。	・ヒヤリはっとの集計、事故対策会議での対策検討、事故防止の呼びかけ。 ・身体拘束に対して職員への意識付け。	・ヒヤリハットについては十分理解されているが、事故防止の対策とスピーチロックについても積極的に今後も取り組んでいく。 1月に勉強会を実施したが、その後行えていない。次年度へ持ち越してしまっている為、早急に実施していきたい。
行 事	行事を通して、利用者様に季節を感じて頂き生活への張り合いや変化を楽しむ機会を設ける。地域行事の参加については、当面行わない。	4月花見→公園散歩へ変更 5月開設記念・新緑祭(中止) →BBQ 開催 6月運動会(施設内実施) 8月花火大会(各ユニット) バーベキュー(1階のみ) 9月敬老会 →写真撮影とお弁当へ変更 10月ハロウィンイベント 12月クリスマス会(各ユニット) 1月初詣・書初餅つき (コロナ発生の為中止) 2月豆まき バレンタインレク 3月文化祭 3月餅つきを開催(1月の代替)	・集合しての行事が困難なため、ユニットごとの行事を強化し、大きなイベントをやる際には実行委員を募って実施していく形をとっていく。 ・計画内容を事前に周知し、職員の協力体制を充実させる。 ・行事について多くの職員が参加しユニットを盛り上げることが出来た。
サービス向上	利用者様に対するサービスの向上とその他ユニット内での困りごとの解決	・委員会内で接遇のアンケート及び接遇の研修会に参加次年度も参加を希望している。 ・業務改善の内容も多くなっている。	接遇に関しては勉強会の実施までたどり着くことが出来ず、次年度へ持ち越しとなってしまった。 接遇に関してのアンケート調査を Google フォームで行った。 今後の勉強会で活かしていけるようにしていきたい。
教 育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図ると共に、施設内外の発表も積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるよう、勉強会、研修会等を企画する。	研修は研修ソフトで実施。 スタッフ全員にテストを毎月行った。 実習生や新人に対する教育マニュアルの策定を開始。	・研修ソフトの導入により研修率は向上した。 ・共通で学んでいることについてはテストを実施し達成度を確認してきているが、未提出者へのアプローチができていない。 ・新人研修用のマニュアルの整備と実習生用のマニュアルを作成することができた。実習に来た生徒がわかりやすくするために今後改善が必要。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
防 災	火災等の人的災害の予防、地震等の自然災害時の救助及び被害の軽減を図る。	毎月、さまざまな火災状況を想定し、消火活動や通報訓練、誘導訓練を行った。 BCP の作成。 夜間防災避難マップの作製。	・利用者様も参加してもらった訓練が少なかったため、今後は実際に近い形で訓練ができるようにしていく。 ・各ユニット会議などで夜間を想定したグループワークを実施した。出席者も多く多様な意見が活発にでた。 ・火災だけでなく様々な災害を想定して行っていく。 ・テントのある場所を知らない職員が多かった。 ・反省を Google フォームで実施した。レスポンスも早く回収もスムーズにできるのでこのまま活用していきたい。
喀 痰 ・ 看 取 り	胃ろう・吸引の必要な利用者様の状態把握をする。 職員への知識・技術の評価・指導を行う。 看取り利用者の確認と状態確認。	・毎月、利用者様のカンファレンスを行った。 ・職員に対し評価・技術指導を行った。 ・添田 Dr.のもと、20 名以上の看取りを実施してきた。医師の協力体制があるため、安心して看取りができるようにアプローチをしていく。 今年度より看取り加算取得している。	・看護師がついて指導している。今後もカンファレンスを行い、利用者様の状態を把握した上で実施していく。 ・看取りでは家族からも最後まで高砂で生活できたことに感謝していただける場面も増えてきた。 ・デスカンファレンスも毎回実施することが出来ている。このまま継続して今後の看取りに繋げて行くことが望ましい。 ・看取り加算取得に向けて動いていく。

フジ高砂クリニック 事業報告

	診療報酬金額（円）	月平均報酬金額（円）	合計外来患者数（人）
令和 4 年度	63,343,428	5,278,619	8,616
令和 5 年度	65,665,918	5,472,160	8,341
令和 6 年度	64,152,206	5,346,017	8,572

令和 6 年度の来院患者数は 8,572 人と前年度より微増だが、報酬金額は前年度対比 97.7%と減少した。要因として診療報酬改定によるものと 12 月よりリハビリスタッフが 3 人から 2 人になったことが挙げられる。

クリニックとしては黒字までまだまだ工夫が必要だが、特養高砂の配置医師、やまぼうしの協力医療機関として重要な役割を果たしている。

特別養護老人ホーム・高齢者住宅なでしこ 事業報告

1. 利用者の状況

令和7年3月末現在

●特別養護老人ホーム

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
富士河口湖町	0	0	9	16	4	29	3.8	47

●高齢者住宅

介護度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計
富士河口湖町	5	0	2	6	4	2	2	0	21
富士吉田市	0	0	0	4	6	1	0	0	11
都留市	0	0	0	1	3	0	0	0	4
東京都	0	0	0	1	1	1	0	0	3
鳴沢村	0	0	0	0	0	0	1	0	1
西桂町	0	0	0	0	1	0	0	0	1
山中湖村	0	0	0	0	1	0	0	0	1
大月市	0	0	0	1	0	0	0	0	1
埼玉県	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	5	0	2	13	16	5	3	0	44

2. 利用者・家族との連携

面会の状況 ●特別養護老人ホーム

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	36	1.20	8	49	1.58	12	29	0.93
5	52	1.67	9	38	1.26	1	51	1.64
6	43	1.43	10	51	1.64	2	45	1.60
7	36	1.16	11	49	1.63	3	53	1.70
						合計	532	1.45

面会の状況 ●高齢者住宅

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	15	0.50	8	26	0.83	12	30	0.96
5	26	0.83	9	26	0.86	1	36	1.16
6	18	0.60	10	42	1.35	2	50	1.78
7	27	0.87	11	43	1.43	3	62	2.00
						合計	401	1.09

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	日々の余暇活動：カラオケ
5	日々の余暇活動：カラオケ
6	日々の余暇活動：カラオケ 勉強会/感染委員
7	日々の余暇活動：カラオケ
8	日々の余暇活動：カラオケ
9	日々の余暇活動：カラオケ
10	日々の余暇活動：カラオケ 勉強会/AED 講習
11	日々の余暇活動：カラオケ
12	餅つき
1	なでしこ神社参拝、日々の余暇活動：カラオケ
2	日々の余暇活動：カラオケ
3	春のお彼岸 ぼた餅作り

※新型コロナウイルス感染対策のため、入居者様・地域の方が集まっての使用は開催せず。
職員が使用する際は換気・距離を取り、短時間にて使用する。

4. 情報公開の取り組み

受付窓口で事業報告、決算書、事業計画、予算書が閲覧できるようにファイルを設置
施設のマニュアル・指針も閲覧できるようにファイルを設置

5. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置	令和6年度	ご意見箱件数	なし
苦情相談窓口受付	令和6年度	苦 情 件 数	3 件

6. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	各ユニットで近隣公園の花見
5	1 日/開設記念行事
6	ハーブフェスティバル
7	18 日/流しそうめん
8	夕涼み会
9	13 日/敬老祝い
10	4 日/秋の味覚を楽しむ会 30 日/紅葉ドライブ
11	文化祭作品展示（住）：2F（特）：1F 廊下
12	27 日/餅つき大会 28 日/正月飾り
1	なでしこ神社参拝
2	3 日/なでしこ豆まき
3	ひな人形飾り 22 日/ぼたもち作り
その他	毎週火曜日：ペン習字教室 ※ペン習字教室は実施。そのほかクラブ活動はコロナ感染対策のため中止

7. 会議開催の状況

●なでしこ管理者会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、リーダー、管理栄養士、事務、看護師、生活相談員、ヘルパー責任者

議事内容：各部署より報告、施設内連絡事項伝達、処遇・設備等相談

●全体会議

開催時期：2ヶ月に1回開催（書面開催）

出席者：全職員

議事内容：各ユニット、各委員会、各部署より報告、施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、看護師、栄養士、介護支援専門員

議事内容：ケースカンファレンス、モニタリング、業務見直し、ユニット行事計画

●委員会

開催時期：各委員会月1回

出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、目標に沿って話し合い

●栄養管理会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、管理栄養士、看護師、調理師、ユニットリーダー

議事内容：栄養ケア・マネジメント、食事提供についての諸注意

●ナース・リーダー会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、看護師、ユニットリーダー

議事内容：入居者の健康管理について情報の共有、看取り対象者の意向確認

●リーダー会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、生活相談員、ユニットリーダー、厨房リーダー

主な議題：ユニットからの相談、職員の指導、入居者の接遇、業務改善について

●運営推進会議

出席者：富士河口湖町介護保険係長、地域包括センター長、七軒町自治会、民生委員、福祉委員、ご家族、第三者委員、施設長、生活相談員

開催日	内 容
4月	年間計画、活動報告、施設紹介
6月	活動報告、施設での感染対策について
8月	活動報告
10月	富士五湖消防本部によるAED講習
12月	(書面開催)活動報告

開催日	内 容
2 月	活動報告、運営推進会議ってなんだろう？

今年度は12月になでしこ施設内で新型コロナウイルス感染拡大のため書面にて開催。

8. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
5 月 30 日 6 月 17 日	令和6年度福祉サービス苦情解決事業研修会	生活相談員	2
6 月 20 日	介護ロボット導入・生産性向上セミナー	介護職員	2
6 月 27 日～	令和6年度認知症介護実践研修	介護職員	1
5 月 24 日～ (1 日ずつ)	令和6年度介護施設における安全対策担当者養成研修	生活相談員 介護職員	1 2
7 月 24 日	生産性向上の取組の普及・拡大に向けた 介護事業所向けビギナーセミナー	施設長 介護職員	1 2
7 月 26 日	集まれリーダー コミュニケーション技術	介護職員	1
8 月 23 日	令和6年度 給食施設従事者研修会	管理栄養士 調理師	1 1
8 月 27 日 10 月 16 日 12 月 23 日	生産性向上の取組の普及・拡大に向けた 介護事業所向けフォローアップセミナー1/2/3	施設長 介護職員	1 2
8 月 21 日 11 月 19 日	令和6年度高齢者権利擁護等 推進委員養成研修会 1/2	介護職員	1
9 月 8 日	令和6年度 介護職種の技能実習指導員研講習	介護職員	1
9 月 27 日	認知症ケアにおけるアンガーマネジメント	介護職員	1
10 月 28 日	認知症の人の権利擁護と意思決定	介護職員	2
11 月 13 日	集まれリーダー メンバーの意識を変える仕組み作り	介護職員	1
3 月 31 日	認知症チームケア推進研修	生活相談員	1

9. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
事故対策	入居者が安心して生活出来るよう、介護事故の予防・対策に努めていく	ヒヤリ・はっとの集計と対策の検討 事故報告の検証と対策の周知 事故予防のためのセンサー使用者の確認と見直し KYT 訓練の実施 事故並びに緊急時のマニュアル見直し	・事故発生時のマニュアルが指導出来てないところがあった。 ・介助方法が統一されていないことでの骨折事故があったため、一人一人の介助方法を確認しておく必要があった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染対策	職場への教育・指導を通して感染予防の意識を高め、感染予防、対策が出来る。 感染症発生時はまん延防止策を講じることができる。	・感染情報発信 ・感染予防対策指導 ・勉強会、実施訓練開催 (食中毒 ガウンテクニック 嘔吐物 処理対応 感染症発生時の振り返り)) ・BCP 作成、修正、 ・スタンダードプリコーション確認 ・感染物品点検、交換 ・トピックス配布、ラウンド実施 ・モップ交換 ・空気清浄機フィルター交換 ・なでしこ内ラウンド ・Airdog 清掃	・全職員への周知が図れていない部分があった。 ・基本的な感染対策が不十分になっていた。 ・日ごろから感染意識を高めるよう発信を継続し、感染症予防対策と初動の徹底を図る必要がある。
防災・設備	突然来る地震・災害などにスムーズに対応できるように訓練を行い、日頃から知識を備え準備しておく。	消防設備点検、自主点検 伝達訓練・呼集訓練、すだれ設置・撤去、草刈り、総合防災訓練、AED講習会、除雪機準備 1年の振り返り BCPの内容の見直し検討	・Chatwork と電話を使用した伝達訓練はマニュアル化できた。予告なしでの訓練の実施必要あり。 ・部署ごとの小規模訓練を行い、回数を増やし緊急時に備える
虐待防止 権利擁護	入居者様の尊厳を守り、自立し安心した生活を送れるように技術を高め、質の良いケアを目指す。	・虐待チェックノートの意見の出し合い ・権利擁護、身体拘束防止への取り組み ・接遇についての検討	・慣れてくると、声掛けが友達感覚になってしまうこと多いので、接遇に対してのマナーを検討する必要あった
嚥下・摂食	食事を口から美味しく安全に食べて頂く為に、口腔内の状態・食事形態・咀嚼・嚥下機能までの動作を確認し皆で検討する。	・歯科医、歯科衛生士への相談者の情報共有 ・毎月の回診内容及び経過報告 ・毎食後の口腔ケア実施 ・口腔ケア用品の消毒の推進、歯ブラシの交換の実施及び声掛け ・口腔内の状態と嚥下機能について意識づけと啓発 ・嚥下体操の実施及び声掛け ・食事形態の確認 ・食事に関する勉強会の計画準備	・毎月の回診で、口腔内の問題点や口腔ケアの方法を話し合えた。 ・嚥下体操の実施継続できた。 ・口腔ケア用品の消毒を実施継続できた。 ・今後はとろみの強さや食事介助の統一をできるようにしていきたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
看取り	なでしこで最期を迎えたいという希望にこたえ、本人・家族の思いを尊重したケアを行う為に、職員の意識向上と積極的な取り組みを目指す。	・適宜体調不良者の報告 ・援助方法についての検討 ・忍びのカンファレンス実施・まとめ ・看取り介護指針の見直し ・偲びのカンファレンス様式の見直し変更 ・看取り介護計画書様式の作成、専用バイダーの準備 ・24h シートの作成 ・勉強会開催(7月・ACP) ・退去時のアルバム・色紙の統一	・看取りにつなげる情報収集がなかなか進んでいない ・看取りが続くと精神的にまいってしまう職員がいるため職員のメンタルケアも必要 ・マニュアルは適宜見直し実際に活用できるものに修正していく
生活	なでしこをご利用されている皆様とご家族様に行事を通じて季節の移り変わりを感じて頂き、生活に張りを持ち浴衣に過ごして頂く。	毎月 定期委員会 お花見、開設行事(縮小開催)ハーブフェスティバル、七夕、流しそうめん、スイカ割、おやつバイキング(スイーツパラダイス)、納涼祭(縮小開催)敬老会(縮小開催)、秋の味覚、おはぎ作り、紅葉祭り、文化祭クリスマス会中止、もちつき大会(縮小開催)、正月飾り・もちばら作り、豆まき、雛人形飾り・ぼた餅作り	今期もコロナ感染が落ち着いた中行事を計画し、実施できないものは限られたが委員会を中心に提案から実施まで行い、感染症に注意しながら進めることが出来た。主な行事は実施できていたので来年はコロナ前の行事に戻していけるよう上役・職員の協力を得ながら進みたい。またご家族様の参加も増やしていく。
生産性向上	業務改善を進めることで、職員が働き甲斐を感じ仕事に誇りを持つことで定着率を上げる。 職員の定着により入居者へのサービスの質の向上を目指す。	委員会を立ち上げ研修参加 研修での課題への取り組み ・職員へのアンケート実施(職員が問題と感じていることは) ・因果関係図作成 ・課題に対する取り組みの実践(多職種への介護技術、福祉用具の取り扱い指導)(指導マニュアルの見直し)	業務改善に対する意識は高い(業務に対する不満は角に口にしている)が、いざ業務改善をするための仕組み作りのために変化を求めると不満が先に出てしまい、リーダーシップをとる者の負担がのってしまう。 業務改善の積み重ねで職員の処遇は確実に改善しているので、理解を深めてもらい活動が浸透するように言い続けていく。

特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん 事業報告

1. 利用者の状況

令和7年3月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)すずらん

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場市	4	5	32	26	7	74		38
小山町	3	1	11	8	5	28		11
裾野市	0	0	2	1	1	4		0
その他	0	1	10	5	5	21		14
合計	7	7	55	40	18	127	3.55	63

●短期入所生活介護(ショートステイ)すずらん

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	2	22	16	21	18	7	87	2.6

●通所介護(デイサービス)すずらん

介護度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	2	3	4	23	23	14	4	4	77	1.7

●ケアハウスすずらん(特定入所)

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
御殿場市	7	4	9	11	8	2	1	42	
小山町	4	0	4	0	0	1	0	9	
裾野市	2	0	2	0	0	1	0	5	
その他	0	2	6	6	0	0	2	16	
合計	13	6	21	17	8	4	3	72	1.5

●ケアハウスすずらん(一般入所)

入所者数	
御殿場市	11
小山町	2
その他	5
合計	18

2. 利用者・家族との連携

感染対策に留意しながら、事前予約制を廃し、日・祝含め午後13時～16時は面会可能とした。毎日15～20件程度の面会家族が訪れている。

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

昨年度に引き続き、今年度も温泉の利用を中止した。数年ぶりに夏の花火会を開催し、コロナ以降休止していた恒例行事を少しずつ再開することができた。地域交流スペースを高嶺の森こども園やゆずり葉の森に活用して頂くなど、コロナ前の姿を取り戻しつつある。

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口付近の棚に、重要事項説明書、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書のファイルを設置し、利用者・入居者様、ご家族様、来館者が常時閲覧できるようにしている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。今年度はご家族様から3件の苦情を受け付けた。その内1件は賠償金支払いを要する案件となってしまった。再発防止策を講じ、二度と同様のことが起きないように努める。

6. 主な年間行事

今年度は、施設内及び施設敷地内で入居者様、ご利用者様に季節を感じて頂ける行事を行った。感染対策も踏まえて行事を絞って行った。

月	行 事 内 容
5	5月人形飾り・こいのぼり
7	七夕イベント
9	納涼祭
12	クリスマス会
3	雛祭り

7. クラブ活動の状況

今年度も、感染予防のためクラブ活動を中止とした。

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、介護主任、各リーダー

開催日	主 な 議 題
4月8日	・新年度の体制について
5月13日	・防災訓練について
6月10日	・ごみ収集業務内製化について
7月9日	・夏場の節電について
8月20日	・経費削減に関して ・夏場の節電活動について
9月17日	・運営指導準備について ・アニマルセラピーについて
10月7日	・下期配置換えについて
11月18日	・電子カルテの導入について
12月16日	・新規特定技能ミャンマー職員について ・面会制限緩和について
1月14日	・勤続表彰について
2月10日	・教養娯楽費の用途について ・ゆずり葉緊急時携帯の運用
3月10日	・来期配置リーダー登用について ・預り金、教養娯楽費の締めについて

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：施設長、介護主任、各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、施設ケアマネジャー、管理栄養士、歯科衛生士

主な議題：利用者の介護支援、生活の質の向上などを目的に、他職種の意見を参考にしながら、更なるケアの充実に向けて会議を開催した。

9. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
9～12月	ユニットリーダー研修	介護リーダー	1

10. 委員会事業報告

毎月1回又は2回、各委員会メンバーにより委員会開催。各事業サービス代表者により委員会開催。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	月次研修の年間計画の策定及び運営。	コンプラ上必須研修が必要回数を実施されているか、また資料・参加記録等正しく書類が整備されているか点検する。	感染対策を継続しながら、資料配布やアンケート形式など工夫し、勉強会開催に努めた。
行事計画	ご利用者に楽しんで頂くための行事を行っていく。	五月人形・こいのぼり・七夕イベント・敬老会・納涼祭・クリスマス・餅つき大会・雛祭り	コロナ以降実施していなかった花火大会を再開することができた。
業務改善	全職員が業務改善に取り組みサービスの向上、能率の良い業務の実現を目指す。	各ユニット及び部署内で業務の見直し改善。	チャットワークや配布資料を通じて、すずらん内の情報共有に努めた。
リスク マネジメント	介護事故のリスクを把握し、日々の業務で対策・実践をし、大きな事故を未然に防ぐ。	・日々のヒヤリハットの作成、入力 ・事故が起きた時の事故対策会議の開催 ・会議後の対策に対する経過報告 ・事故対策会議の回覧による施設全体での把握 ・虐待に関する疑いがある場合の聞き取り ・事故・ヒヤリの件数把握	事故発生時には必ず対策会議を開催し、原因追及と対策を講じるように努めた。ご家族様への詳しい状況説明し、大きな苦情につながる事故は無かった。
安全衛生	労働安全法に基づき、職場における職員の安全と健康を保持し快適な作業環境の形成を促進する。	・安全衛生管理点検表による定期点検 ・健康診断の実施 ・メンタルヘルス	・毎月の安全衛生管理点検を行った。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染対策	- 施設内感染症予防の計画・立案 - 教育、研修必要な措置の実施	- 基本的感染対策 5S 活動の実施 - 勉強会の実施 - 施設内感染症予防の環境整備	感染症発生時には率先して対策を講じた。今年度は大きなクラスター発生には至らなかった。
防 災	火災等の人的災害予防と地震等や自然災害時の救助及び被害を最小限におさえる。	ケアハウスと特養棟の地震や火災を想定した防災訓練を年 2 回実施	- 防災用具等を使用しての避難訓練を実施した - 夜間の災害を想定した防災訓練が可能かどうか。
嚥 下 褥 瘡 給 食	多職種が連携し介護現場を中心とした嚥下・褥瘡委員会活動を行っていく。 利用者様の褥瘡・誤嚥の予防に繋がる。	- 誤嚥・褥瘡リスク者のピックアップとリストアップ - 褥瘡防止に繋がる支援の確立（褥瘡早期発見シートの活用） - 嚥下機能の維持と誤嚥防止に繋がる援助褥瘡予防マットの管理	予防に繋がる環境づくりに努めた。介護現場の日常業務として取り組める具体的な嚥下体操等の取り組みが、ユニット毎に差があるため統一できるようにしたい。

すずらん鍼灸治療院 事業報告

施術人数/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
すずらん特養	60	46											106
すずらん ケアハウス	33	26	23	23	16	18	20	20	16	5	16	19	235
ゆずり葉の森	27	25	21	36	13	16	31	30	28	9	18	19	273
菜の花の丘	74	102	84	98	76	90	110	88	72	18	42	0	854
白雪特養	4	12											16
ケアハウス やまぼうし	43	26	32	16	35	20	27	34	27	27	22	25	334
白雪特養	10	20											30
職 員	3	2								1	2	1	9
一 般	7	12	2	2	5	6	4	2	2	1	1	2	46
合 計	261	271	162	175	145	150	192	174	145	61	101	66	1,903

ケアハウスやまぼうし 事業報告

1. 利用者の状況

令和7年3月末現在

介護度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
沼津市	3	5	10	10	3	2	0	0	33	
裾野市	1	0	3	2	1	1	0	0	8	
長泉町	0	0	1	1	1	0	0	0	3	
御殿場市	0	1	0	2	0	0	0	0	3	
三島市	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
その他	0	4	0	6	1	0	0	0	11	
合計	4	10	14	23	6	3	0	0	60	0.88

2. 利用者・家族との連携

面会の状況（オンライン・窓越し含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均
延べ件数	21	28	38	21	36	22	33	42	38	38	25	34	31.33

3. 主な年間行事

利用者の皆様に楽しんでいただけるように様々な行事を計画し実施した。

月	行事内容	月	行事内容
4	開設記念特別メニュー、お花見	10	豚汁会
5	五月人形飾り、端午の節句メニュー	11	イルミネーション鑑賞
6	焼きそば会	12	クリスマス会
7	七夕飾り・流しそうめん	1	お正月メニュー・餅つき
8	おやつレク・花火会	2	節分 豆まき
9	敬老会・祝い弁当	3	ひな祭り特別メニュー

4. クラブ活動の状況

クラブ活動を定期的に行い、利用者の皆様の気分転換を図った。

※感染対策の為外部ボランティア等は中止

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
カラオケ	1	80	映画鑑賞	1	2
体操教室	1	24	移動図書館	2	12
ドライブレク	2	6	作品作り	1	2

5. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

※感染対策のため外部利用制限

月	内 容	月	内 容
4	カラオケ 体操教室	10	カラオケ 体操教室
5	カラオケ 体操教室	11	カラオケ 体操教室
6	カラオケ 体操教室	12	カラオケ 体操教室
7	カラオケ 体操教室	1	カラオケ 体操教室 餅つき
8	カラオケ 体操教室	2	カラオケ 体操教室 まめまき
9	カラオケ 体操教室	3	カラオケ 体操教室 ボランティア（中止）

6. 情報公開の取り組み

入口玄関に重要事項説明書の掲示を行い、利用者様、ご家族様が自由に閲覧出来るようにしている。

7. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 令和6年度 苦情受付件数 3件

8. 会議開催の状況

●リーダー会議・部署会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、介護支援専門員、生活相談員、各部署リーダー、看護職員

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、勤務について等検討議案の決定

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、介護支援専門員

議事内容：業務見直し、ユニット行事計画

●サービス担当者会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：介護支援専門員、生活相談員、看護職員、ユニット職員、栄養士、施設長

主な議題：利用者様の情報共有、ケアプランに関する内容

●各種委員会

開催時期：各委員会月1回

出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、予定についての話し合い

●待機者管理・判定会議

開催時期：毎月第2月曜日＋随時開催

出席者：施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護職員、栄養士

議事内容：待機者状況報告及び入居申込者の入居可否決定

●電子カルテ導入会議

開催時期：1月以降隔週開催

出 者 者：施設長、各リーダー

議事内容：電子カルテへの円滑な移行のための準備

9. 外部研修参加の状況

- ・感染・衛生委員会⇒福祉介護感染症対策・ケア実践研修（対面研修）
- ・防災委員会⇒BCPに関する研修（オンライン研修）

10. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染・衛生 対 策	・職員の業務上必要な知識・技術の向上を図る。 ・施設内感染予防の計画・立案	・月1回 委員会開催、施設内清掃チェック ・週1回冷蔵庫チェック ・インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス感染症勉強会 ・感染症対策に関するBCP策定 ・施設内環境整備 ・入居者、職員の健診・予防接種管理 ・感染症対策備品の管理	・前年度の課題であった「危機意識の低下」に対して、意識向上に努めました。 ・本年度初めて利用者様でコロナ患者が発生し、知識として感染対応と実践との乖離が多かった。
リスクマネ ジ メ ン ト	将来起こり得る危険を想定して、起きたときに損害を最小限に留めるために対応する(危機管理) ・事故発生後の集計をもとに施設全体で分析、対策、評価を行い、再発防止に努める。	・月1回委員会開催(第3水曜) ・ヒヤリハット・アクシデントの集計 ・緊急マニュアルの見直し ・事故発生時に事故対策会議開催 県や保険者への報告 ・危険予知トレーニングの実施 ・施設内危険箇所の確認	・昨年に引き続き、転倒事故が多かった。 ・利用者同士の人間関係に起因するトラブルが多かった。
防 災	「施設職員及び利用者様に対して防災意識を高め、防災訓練を実施し、生命の安全と施設の保全に努める」を目的として防災活動等に取り組む。	月1回委員会開催 4月 顔合せ・前年度活動内容の確認 5月 緊急時参集訓練(中止) 6月 機械室の点検、清掃 7月 防災備品点検 8月 非常階段の点検、清掃 9月 避難誘導訓練(机上) 10月 通報訓練 11月 緊急参集訓練 12月 防災備品の確認・発電機点検 1月 避難誘導訓練(机上) 2月 消火訓練 3月 活動報告まとめ	・参集訓練が人員の関係で実践できず、机上のみで終わってしまった。 ・訓練の参加人数がすくなかった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善・教育	・職員の業務上必要な知識・技術向上のため、勉強会を行う。 ・職員のスキルアップを図る。 ・提案や要望を通じて、業務の効率化やサービスの質の向上を図る。	月 1 回委員会勉強会開催 4 月 顔合わせ・研修計画検討 緊急時の対応 5 月 倫理及び法令遵守 6 月 感染症・食中毒の予防及びまん延防止 7 月 プライバシー保護 8 月 事故発生または再発防止 9 月 介護予防及び介護度進行予防 10 月 感染症及び災害に係る事業継続計画 11 月 認知症及び認知症ケア 12 月 実技:感染症対策 1 月 接遇 2 月 身体拘束の排除・高齢者虐待防止 3 月 来年度の計画及び本年度の反省	・コロナ以降、久々の外部研修を実施できた。 ・外部研修で得た知識を実技研修を通して、施設内で共有できた。
行事・給食	・様々な行事やレクリエーションを皆様の協力を得て行い、利用者様に季節感や喜楽を感じて頂く。 ・より良く美味しい食事を提供出来るように利用者様からの意見を取り入れていく。	月 1 回委員会開催(第 1 木曜) 毎月のレク行事予定表検討、作成 4 月 開設記念特別メニュー、お花見 5 月 五月人形飾り、お弁当レク 6 月 焼きそば会 7 月 七夕飾り・流しそうめん 8 月 おやつ作成レク・花火会 9 月 敬老会・祝い弁当 10 月 豚汁会 11 月 イルミネーション鑑賞 12 月 クリスマス会 1 月 餅つき 2 月 節分(豆まき) 3 月 ひな祭り	・外部ボランティアの受け入れを企画したが、タイミングが合わず、来年度にずれ込んでしまった。 ・イルミネーション鑑賞を新規に実施し、好評を頂けた。
広報	施設の情報を積極的に発信し、透明性の高い施設運営を促進する。	月 1 回の委員会開催 ・「やまぼうし新聞」を季刊で発行し、行事、職員紹介などを発信しました。 ・Instagram を運用し、入居者様の様子や行事の様子などをご家族様及び外部への情報発信を強化した。 ・行事の際の写真撮影を担当	・Instagram について、多くの好評な声を頂けた。 ・施設の知名度の向上に繋がった。

社会福祉法人博友会指定地域密着型通所介護事業所（山中湖デイ）・

社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所（山中湖居宅） 事業報告

1. 利用者の状況

令和6年3月末現在

●地域密着型通所介護・総合事業通所型サービス（山中湖デイ）

※令和6年4月1日から11月30日まで山中湖村デイサービスセンター改修工事の為、その間事業所は休業。

介護度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
平野地区	0	0	0	5	5	3	0	0	13	
山中地区	0	0	0	2	2	3	0	1	8	
長池地区	0	0	0	2	0	1	0	0	3	
朝日丘地区	0	0	1	0	0	1	0	0	2	
合計	0	0	1	9	7	8	0	1	26	1.8

●居宅介護支援（山中湖居宅）

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	16	10	5	3	2	36	1.8

2. 利用者・家族との連携

日頃から送迎時等で家族との会話を積極的に行い、家族の意見を聴いたり、利用者の日々の様子を連絡帳等で情報共有して、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めた。

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

令和6年度も新型コロナウイルス感染症5類になったが感染予防の為に従来行ってきた地域住民との交流、地元中学生職場体験やボランティア等の受け入れ、近隣保育所や小中学校、地元住民からの慰問等、直接接する交流会は自粛した。

月	行事内容
12	18日 手作り竹炭消臭剤を利用者へプレゼント（リフォームすずらの会）

4. 情報公開の取り組み

玄関入口に運営規程、重要事項説明書等の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。

苦情相談窓口受付 令和6年度苦情件数 0件

6. 主な年間行事

※令和6年4月1日から11月30日まで改修工事のため休業

月	行 事 内 容
12	19～21日/ゆず風呂 21日/冬至かぼちゃ料理 24, 25日/クリスマス会
1	4, 6日/正月遊び（かるた取り等） 6, 7日/ミニおせち料理 12日/小正月だんごばら（だんご作り）
2	1日/節分（豆まき）
3	3日/ひな祭り（ひなあられ） 5日/大雪着雪注意報 2時間短縮 11:15～営業 13日/避難訓練（火災災害訓練） 15日/大雪 短縮営業 15:45 送迎 17日/大雪(35cm) 2時間短縮 11:15～営業 19日/大雪雷着雪注意報(20 cm) 臨時休業

7. 会議開催の状況

●全体会議

開催時期：毎月1回

出席者：全職員

議事内容：事業計画、事業報告、事務連絡、グループ内連絡事項確認

●ケース検討会

開催時期：毎月1回

出席者：デイ管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員、
居宅管理者（介護支援専門員）

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、行事計画

●運営推進会議

※本来4月と10月の年2回開催が義務付けられているが、令和6年4月1日から11月30日まで改修工事のため休業しており6年度は開催なし。

8. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
6月12日	令和6年度第1回富士北麓地域介護支援専門員研修会 （オンライン研修）	居宅管理者	1名

※感染予防のため、大幅に自粛した。

9. 内部研修・勉強会参加の状況

※令和6年4月1日から11月30日まで改修工事のため休業しており内部研修なし

10. 委員会事業報告

※令和6年4月1日から11月30日まで改修工事のため休業。

再開後は山中湖デイでは9年目となり毎月1回全体会議・各委員会を開催し、職員全員で運営の充実を図った。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
行 事 計 画	博友会の理念のもと“長生きしてよかった”のお手伝いとして利用者様がより良い生活を送れるよう季節にあった行事・風習を生活に取り入れて、ストレス解消とリフレッシュを図る。	季節行事の企画 ゆず風呂・冬至かぼちゃ料理、クリスマス 正月(かるた取り・福笑い)、小正月(どんど焼きだんご作り)、節分(豆まき)、ひな祭り(ひなあられ)	・感染対策で直接交流はできなかったが地域の方からいただいた柚で、柚風呂を楽しんだり、クリスマスプレゼントに竹炭の手作り消臭剤をいただいたり、地域密着型の良さを改めて感じる事が出来たが。直接受け渡しが出来るとより利用者様にも地域の皆さんの支援がつたわるので次年度は直接交流の機会を増やしていきたい。
防 災	地震・火災等にスムーズな対応ができるように職員に継続的に教育を行っていく。	自主点検・火気使用設備管理点検 消防用設備等・特殊消防用設備 避難訓練(火災災害想定)	・防火管理者を中心に委員会として日々自主点検を行った。 ・避難訓練は、利用者も参加して実際に近い形で訓練ができた。 ・隣接する石割の湯(山中湖観光振興公社)と合同で消防用設備等自主点検ができた。
事 故 対 策 (権 利 擁 護 ・ 高 齢 者 虐待防止)	利用者様一人ひとりの生活歴を重視し、穏やかに安心して生活出来る様、質の高い介護を確立する。	・ヒヤリはっとの集計、事故対策検討、事故防止の周知 ・事故件数 4 件 ・虐待防止の為に虐待チェックノートの読み合わせ ・権利擁護、身体拘束防止の為に接遇について取り組む	・ヒヤリはっとの分析を基に事故防止の対策について積極的に引き続き取り組んでいく。 ・今年度も大雪着雪注意報や大雪警報があり、臨時休業1日、時間短縮営業が3回あった。 ・利用者様への声掛けで言葉遣いが強い職員がいたが何度となく話し合い改善に向けて努力した。 ・権利擁護等について常に意識した言葉使いをするように心掛けた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
衛生管理	利用者様の安全安心を確保するための感染予防計画の作成と、職員への教育・指導を行い感染の予防・防止に努める。	・新型コロナウイルス感染予防等の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断を実施 ・うがい手洗いの実施徹底 ・アルコール等による清掃方法、吐物処理、食器類の対処について実践学習 毎日：調理施設・調理器具及び使用水・調理等における点検、レジオネラ症防止対策自主点検 随時：ろ過装置・薬注装置点検（改修工事後山中湖村で実施） 年1回：水質検査（レジオネラ属菌） 年1回：風呂循環配管薬品洗浄（博友会で実施） 年1回：害虫駆除・グリストラップ清掃	・感染症に対する知識を職員へ周知徹底致した。 ・うがい、手洗い、マスク装着の意識を高め声掛けを絶えず行った。 ・除菌洗浄剤やアルコール消毒等による清掃方法について職員間で協議し衛生管理に努めた。 ・調理室等の衛生管理に特に日々注意し点検を行った。 ・レジオネラ症防止対策に取り組み水質保持を心がける。 ・職員の健康維持にも取り組んだ。
施設等維持管理	施設・整備管理の専属営繕職員が不在ではあるが、日常点検・定期点検を行い施設の良好な状態を維持できるように努める。	毎日：車輛始動自主点検、浴室リフター自主点検 随時：車輛整備・清掃点検、施設環境美化、施設修繕点検、備品管理点検 ・R5/9/21～トヨタノア（車イス対応）使用 ・R6/11/28 日産 NV100 クリップパーリオ（車イス対応）納車	・送迎時の運転は職員一同注意して運転するように周知した。 ・老朽化による施設修繕工事山中湖村により令和6年4月～11月まで建物改修工事を行う。

特別養護老人ホームふじあざみ 事業報告

1. 利用者の状況

令和7年3月末現在

特別養護老人ホーム（従来型）ふじあざみ

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	0	2	13	14	5	34		2
裾野	0	0	2	0	2	4		3
その他	0	0	0	1	1	2		2
合計	0	2	15	15	8	40	3.8	7

●特別養護老人ホーム（新型）ふじあざみ

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	0	2	11	15	9	37		0
裾野	0	0	1	2	0	3		0
その他	0	0	4	3	2	9		0
合計	0	2	16	20	11	49	3.9	0

●短期入所生活介護（ショートステイ）ふじあざみ

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	1	0	14	12	9	10	5	51	2.8

●通所介護（デイサービス）ふじあざみ

介護度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	5	6	20	14	10	5	1	61	1.7

2. 利用者・家族との連携

利用者様に快適な生活をしていただくために、利用者様およびご家族に施設へのご理解をいただき、率直なご意見をいただくため、日頃よりご家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。また請求書送付の際、ご家族に向けて利用者様の施設内活動での写真を同封している。対面での面会時は職員も積極的にご家族様と会話をし、入居者様の日々の様子を伝える事で連携を図った。

●家族会活動状況

感染対策のため今年度の家族会活動の実施なし

●外出・外泊状況

外泊に関しては実施せず、外出は短時間で飲食を伴わない制限のもと実施した。

●面会の状況

ロビーでの対面式面会から感染状況に応じて、居室での通常面会を実施した。また体調を考慮した方は特別面会の形で実施した。

月別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
特別面会	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0	10	0.8
対面面会	15	115	135	100	89	94	25	87	118	110	92	121	1,101	9.1
合 計	15	115	136	101	90	95	27	88	119	111	93	121	1,111	9.2

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域住民との交流を図るため、地域交流スペースの地域開放を積極的に行っていこうと考え、歌のボランティアや地域における連絡会議など、地域交流スペースで集まりを行った。また、地域における公益的な取組として、買い物移動支援事業への協力も行った。

4. 情報公開の取り組み

施設入口に重要事項説明書、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書のファイルを設置し、利用者様・ご家族・来館者が常時閲覧できるようにしている。

5. 苦情解決の取り組み

生活相談員や介護員・看護師等がご家族と密に連携を取り、ご家族からの苦情に至らない相談等に 対応してきた。

また、事務室前にご意見箱を設置し、ご家族および利用者様から施設運営に関わる意見をいただけるよう努めた。

令和6年度 ・ご意見箱件数 4件
 ・口頭、電話、連絡帳等でのご意見数 38件

6. 主な年間行事

感染予防のため積極的なイベント等は控えたが、ユニット単位での行事等を行い入居者様に少しでも楽しんでいただけるよう努めた。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	お花見ドライブ	10	焼き芋行事（各ユニット）
5	端午の節句（五月人形の飾り付け）	11	開設記念
6	おやつレクリエーション（各ユニット）	12	クリスマス会（各ユニット）
7	スイカ割り行事（各ユニット）	1	もちつき大会
8	花火大会（各ユニットベランダにて）	2	豆まき（各ユニット）
9	敬老会（各ユニット）	3	ひな人形飾り

※各ユニットにて日々のレクリエーションを実施

7. クラブ活動の状況

日頃外出機会の少ない利用者様に少しでも楽しい時間を過ごしていただくため、カラオケクラブや体操クラブ活動を定期的に行った。

8. 会議開催の状況

●管理監督者会議

開催時期：毎月第3月曜日

出席者：管理者、ユニットリーダー

主な議題：介護報酬の実績報告、物品発注の経過、入所予定の確認、職員の入職についての確認等

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：施設長、介護長、各ユニット部署職員

主な議題：多職種参加のカンファレンス内容をユニット職員で共有し、統一したケアができるように会議を開催、ユニット業務の見直し、改善を検討。

9. 外部研修参加の状況

積極的に外部研修（eラーニング含む）に参加した。

月	内 容	職 種	人数
5	御殿場・小山・裾野地区 SW 勉強会	生活相談員	2
7	ユニットリーダー研修	介護員	2
8	在宅医療・介護連携推進研修会	介護支援専門員 機能訓練指導員	1 1
3	感染対策研修	看護師	1
3	身体拘束フォーラム	介護員 介護支援専門員 機能訓練指導員	1 1 1

10. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
行 事	季節ごとの行事等を行い、利用者にふじあざみでの生活を楽しんでいただく。	毎月第3火曜 誕生日会(ユニット毎) 毎月 定例委員会 4月 委員会活動説明、お花見ドライブ企画 5月 端午の節句飾りつけ実施 6月 おやつレクリエーション企画 7月 スイカ割り行事企画 8月 花火鑑賞会の企画と実施 9月 敬老会の企画と実施 10月 焼き芋企画と実施 11月 開設記念行事企画と実施 12・1月 感染状況から行事中止 2月 豆まき行事の企画と実施 3月 ひな人形飾りつけ実施	行事を行えるようになり入居者様の QOL が高まった。 来年度は、地域住民やこども達との交流ができる企画をさらに増やしていきたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
事故対策	介護事故を防止し安全で適切な質の高い介護を提供する体制を確立する。安全な介護の提供で、利用者様との信頼関係を築く。	毎月 定例委員会 4月 委員会活動の流れ、指針説明 5～7月 ヒヤリハット・事故報告書記入方法指導 8月 緊急時の対応について(臨時勉強会) 9月 各マニュアルの見直し、改正 10月 事故対策についての勉強会開催 11月 L字柵、センサーマット使用者の評価 12・1月 勉強会・委員会は感染状況から中止 2月 次年度予算作成 3月 1年間の反省、次年度活動計画	年間を通して対策や予防に対する知識向上ができた。 来年度は委員会で率先し実行していきたい。
身体拘束虐待防止	入居者様の尊厳と主体性を尊重し、各職員が身体的・精神的被害等の理解を深める 身体拘束・虐待に関する勉強会を開催し職員へ周知指導行う	毎月 定例委員会 4月 指針、マニュアルの確認 5月 身体拘束についてアンケート実施 6月 高齢者虐待についての勉強会開催 7月 スピーチロックについての勉強会開催 8月 アンケート実施・集計・配布 9月 指針・マニュアルの確認 10月 身体拘束についての勉強会開催 11月 高齢者虐待についてのアンケート実施 12月 高齢者虐待についての勉強会開催 1月 今年度反省会 2月 次年度計画作成 3月 1年間の反省、次年度活動計画	勉強会等を開催し身体拘束禁止及び高齢者虐待防止の知識と理解を深める事ができた。
感染対策	施設内での感染症予防の計画立案 教育、研修等必要な措置の実施	毎月 定例委員会 4月 委員会活動と指針、マニュアル説明 5月 勉強会の実施(感染症について①) 6月 施設内感染用品の確認、補充 7月 手洗い指導の実施、マットレス乾燥実施 8月 ユニット内清掃チェック 9月 感染マニュアルの見直し 10月 ガウンテクニックの実施 11月 勉強会の実施(感染症について②) 12.1月 感染状況から中止 2月 感染予防備蓄確認、補充 次年度予算作成、1年間の振り返り 3月 次年度活動計画	各ユニットでもガウンテクニック等行えるように委員会が率先する事が出来た。
教 育	職員一人一人の資質向上に繋がるよう、毎月の勉強会やユニット発表会等を通じて積極的に働きかけていく	毎月 定例委員会 4月 委員会の流れ、勉強会の流れ 5月 勉強会(感染症について①) 6月 勉強会(事故対策について①) 7月 勉強会(食中毒について) 8月 勉強会(緊急時の対応①) 9月 勉強会(防災について)	施設内勉強会は毎月進行や準備含め概ねできた。 また、外部研修にも積極的に委員が参加する事が出来た。

		10月 勉強会(高齢者虐待について) 11月 勉強会(感染症について②) 12月 勉強会(事故対策について②) 1月 勉強会(身体拘束について) 2月 勉強会(緊急時の対応②) 3月 1年間の活動報告、次年度活動計画	
委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
安全衛生	職員及び利用者の健康の保持と増進、心の健康にも留意し確実。円滑に実施できる環境の整備に努める	毎月 定例委員会 4月 委員会活動、規則説明 5月 危険予知活動の実施 6月 熱中症予防トピックス配布、掲示 7月 夜勤者健康診断の実施 8月 食中毒予防トピックス配布、掲示 9月 入居者様健康診断の実施 10月 メンタルヘルスの実施 11月 腰痛予防資料の配布、掲示 12・1月 感染状況から中止 2月 危険予知トレーニングの実施、次年度予算の作成 3月 職員健康診断の実施、次年度活動計画	今年度は、職員、省エネに対する意識をもっと職員に分かりやすくしたりできた。
給食・嚥下	・利用者様に合った食事内容の見直し衛生管理の指導 ・嚥下・摂食障害への対応・予防について助言指導・啓発 栄養課業務の改善及び利用者給食の内容充実を図る。	毎月 定例委員会 4月 委員会活動、規定等の説明 5月 入居者様嗜好調査の実施 6月 誤嚥・褥瘡リスク者ピックアップ 7月 リスク者の対応策の検討 8月 エアマット・褥瘡予防マット使用状況確認 9月 誤嚥・褥瘡リスク者ピックアップ 10月 リスク者の対応策の検討 11月 入居者様の嗜好調査の実施 12・1月 感染状況から中止 2月 次年度予算作成、1年間の活動報告 3月 次年度活動計画	嚥下障害の予防に対する知識、意識を多職種連携し高める事が出来た。
防 災	人的災害(火災等)の予防及び自然災害(地震等)時の被害の軽減を図る	毎月 定例委員会 4月 委員会活動、防災計画説明 5月 緊急連絡網(防災メール含む)作成 6月 防災備蓄品確認、補充 7月 通報訓練(ユニット) 8月 防災設備点検・消火訓練 9月 BCP 内容の確認と見直し 10月 防災設備の使用・自主点検 11月 秋の火災予防運動トピックス配布・掲示 12・1月 感染状況から中止 2月 次年度予算作成、1年間の振り返り 3月 次年度活動計画	消防署と連携し大規模(施設全体)な総合避難訓練が出来た。次年度も引き続き大規模災害を想定した避難訓練に力を入れて行きたい。

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児		1・2歳児		3歳児		4歳児以上		合計
	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	
4	4	0	20	3	18	0	36	3	84
5	4	0	21	2	18	0	36	3	84
6	6	0	21	2	17	1	36	3	86
7	6	0	21	2	17	1	36	3	86
8	6	0	21	2	18	0	36	3	86
9	6	0	21	2	18	0	36	3	86
10	6	0	20	3	18	0	36	3	86
11	6	0	19	3	18	0	36	3	85
12	6	0	20	3	18	0	36	3	86
1	6	0	20	3	18	0	36	3	86
2	6	0	20	3	18	0	36	3	86
3	6	0	20	3	18	0	36	3	86
合計	68	0	244	31	214	2	432	36	1,027

事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	256 人
延長保育	683 人
休日保育	197 人
病後児保育	59 人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	1 日 入園式 16 日 内科健診 23 日 幼年消防任命式 24 日 歯科健診
5	14 日 年長児救助隊見学 17 日 親子バス遠足（伊豆三津シーパラダイス） 27 日 交通安全教室
6	28 日 花火教室
7	1 日 プール開き 5 日 七夕の集い 6 日 とらのこまつり（保護者参加）
8	30 日 プール終い
9	2 日 防災訓練（引渡し訓練） 22 日 2 歳以上児運動会
10	8 日 内科健診（秋） 11 日 秋の遠足（園児のみ） 22 日 さつま芋ほり
11	15 日 年長児七五三祝い 16, 30 日 保護者奉仕作業
12	7 日 2 歳以上児生活発表会 11 日 焼き芋 13 日 もちつき 24 日 クリスマス会
1	20 日 未満児保育参観・懇談会 21 日 3 歳児保育参観・懇談会 24 日 4 歳児保育参観・懇談会 28 日 5 歳児保育参観・懇談会
2	3 日 節分の会 6 日 観劇（ピョピョ人形劇） 25 日 幼年消防修了式・引継ぎ 27 日 交通安全教室
3	3 日 ひな祭り会 6 日 お別れ遠足 14 日 お別れ会 20 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月1回 出席者：主任保育士、副主任保育士、専門リーダー保育士

開催日	主 な 議 題
毎 回	・保育の問題点について ・ヒヤリハット ・苦情、要望他
4月17日	・新年度の始まりの気付きについて ・リーダーの役割、行事について
5月23日	・プール・水遊びについて ・マニュアルの確認（プール・水遊び）
6月20日	・砂場の玩具の使い方 ・マニュアルの確認（午睡）
7月18日	・園庭玩具について ・声の大きさ ・園外危険箇所確認 ・運動会について
8月22日	・マニュアルの確認 ・プール遊び道具の片付け方確認
9月20日	・プール遊び反省 ・秋の遠足について ・ダブルチェックについて確認
10月17日	・人権について自己評価の反省 ・発表会について ・監査に向けて
11月21日	・発表会について ・監査報告 ・朝の園児の確認方法
12月12日	・発表会の反省 ・マニュアル変更点の確認
1月23日	・指導計画案について ・入園のしおり変更点の確認
2月20日	・指導計画案について他 ・来年度について
3月17日	・マニュアルについて ・来年度行事日程確認 ・シフトについて

●全体会議

開催時期：毎月第4水曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
毎 回	・行事反省 ・各委員会より ・ヒヤリハット報告
4月1日	・クラス担任引継ぎ／保育指導計画作成
4月25日	・行事予定確認 ・マニュアル確認
5月30日	・ファミリーデーについて ・花火教室について
6月27日	・七夕まつりについて ・プール開きについて ・とらのこまつりについて
7月25日	・プール終いについて ・敬老の日について
8月29日	・運動会について ・マニュアル確認
9月26日	・芋掘りについて
10月24日	・発表会について ・七五三について
11月28日	・生活発表会、クリスマス会について ・焼き芋について ・監査報告
12月19日	・保育参観について
1月30日	・節分の会について ・年長児の午後の過ごし方について
2月27日	・ひな祭り ・お別れ会 ・卒園式について
3月20日	・入園式について ・次年度の行事計画等確認 ・次年度への引継ぎ

●以上児会議

開催時期：毎月1回 出席者：主任保育士、以上児各クラス代表

●未満児会議

開催時期：毎月1回 出席者：副主任保育士、未満児各クラス代表

● 3 園合同年齢別研修会

開催時期：年 2 回 5-6 月、12-1 月 出席者：主任保育士、副主任保育士、各クラス担任

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4 月 13 日	御殿場市保育の会総会	園 長 保育士	2
5 月 18 日	静岡県保育士会東部「睦会」総会	主 任	1
6 月 4 日	やまなみ保育士会総会・研修会	副主任	1
6 月 15 日	御殿場市保育の会「言葉の力が子どもを育てる」	保育士	1
7 月 13 日	御殿場市保育の会リズム研修「新しいリズム遊び」	保育士	1
10 月 8 日	静岡県保育士会リーダーセミナー「保育の質の向上」	主 任	1
12 月 4 日	静岡県保育士会保育士保育教諭研修会「配慮を必要とする子」	保育士	1
10 月 31～1 日	静岡県キャリアアップ研修 「食育・アレルギー対応」	保育士	1
10 月 31 日	御殿場市保育の会 保育の日研修	会 員	10
2 月 6 日	静岡県保育士会 保育士・保育教諭研修会「食育」	保育士	1
2 月 14 日	保育士東部睦会「子ども・保護者への関りについて」	保育士	1
2 月 20 日	やまなみ保育士会新旧役員会・研修会	保育士	1
2 月 21 日	静岡県保育士会「睦会」	保育士	1

5. 委員会事業報告

毎月1回委員会を開催し、園運営の環境整備、衛生面の職員周知徹底を基本に、職員会議にて報告し委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図る。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
保健衛生	・病気の対応、環境衛生の管理を定め、園児の健康保持・増進を図る。 ・アレルギー児の確認、周知を図る。又、変更は随時知らせる。 ・看護師による指導を受ける。「エピペン研修」 ・手洗い指導を園児にしていく事で、感染予防の意識を高める。 ・インフルエンザ・コロナ感染症予防対策として、大型空気清浄機設置して、稼働させる。	・救急箱および各クラスの救急箱の管理(補充) ・消毒液の回収・補充 ・感染罹患シート回収・集計 ・掲示板を設置して、定期的に感染症や衛生管理の手洗いの仕方等を掲示する。 ・感染予防講習会への参加 ・園児への保健指導「手洗い」 ・アレルギー児の表を作成配布。	・健康管理について保護者や園児へも促せた。 ・アレルギー児の確認の為、各クラスで誤飲の無い様全体の表を作成し配布、顔写真を付けて周知を図る。 ・除去食の置き場所を作り、栄養士との声掛けで再確認をする。 ・衛生管理により感染症が流行らずに過ごせる。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	・常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指すため、勉強会や研修を企画し実施する。 ・園内研修の充実を図り職員の活動意欲を高める。 ・保育の質の向上を目指した研修をし、お互いの保育を共有できるようにする ・保育の要点・報告	・年間を通じた園内研修 前期研修会(骨盤美活) 後期園内研修会(リズム運動) ・原里地区一貫研研修の参加 ・県内外の外部研修参加 ・定期的な指導案に対する反省の促し ・異動、退職者の送別の担当、贈り物を考案する。 ・保育士による学び合い。	・職員全体で1つのテーマに取り組む事で保育に対する共通理解を深め、知識・資質の向上に繋がられた。 ・来年度も園内研修を充実させ職員間の共通理解・質の向上を目指した研修を計画していきたい
環 境	・人と物との環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう計画的に構成する。 ・保育環境の整備、向上とともに、施設内外の設備遊具等の管理をする。 ・修繕の個所を見つけ業者に依頼する。	・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをして、整理整頓を行う。 ・ヒヤリハット・安全点検の管理 ・各クラスの不備を受け止め、園長に報告する。	・月に2回の物品発注が習慣化する。 ・環境チェックシートをうまく活用できた。 ・ヒヤリハットは、確認をして安全を呼びかける事で意識が高まる。 ・職員に環境を整えるための物品を揃えることで整頓の意識を高められた。
広報・写真	・4月職員紹介写真撮影をして掲示する。 ・掲示板の壁面装飾。 ・写真、HPの管理。 ・園児の生活風景を写真として記録し、保護者も子どもの成長を感じられるようにする。	・画像データ管理、印刷関係、備品の管理 ・壁面、掲示物管理 ・カメラ関係備品の管理 ・HPの更新 ・園内の壁面装飾 ・卒園児に贈るスライド製作	・子どものための壁面構成で四季、行事への関心を高めることができた。 ・誕生会の集合写真に背景を付けて工夫をして盛り上げられた。 ・HPの更新を定期的に行うようにした。
食 育	・食育に関する年間計画を定め実施のサポートをする。 ・食物を育てる楽しさ、調理や食事の楽しさを知らせる。 ・身近な食材に興味関心を持たせ、食物を大切に作る心と食欲に繋げていく。	・食育実践の計画を立て、準備に携わる。 ・さつま芋畑の管理。 ・収穫したさつま芋で焼き芋を行う。 ・食育ひろば(掲示板)作成 ・食育だよりの発行。 ・餅つきを経験する ・食育のアンケートを配布、結果を報告する。(年長児)	・食育便りでは、保護者への関心を高められた。 ・食育ひろばを利用し、園児が興味を持てるクイズなどを掲示することで、多くの園児が立ち寄り関心が高まった。 ・白雪の畑を借りて、身近な場所で観察しながら、収穫を楽しむことが出来た。 ・夏野菜の栽培・収穫をして食すことで食への意欲が増す事を感じることができた。

菜の花こども園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児		4歳児以上		合計		
	保育認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	合計
4	2	27	1	16	4	30	5	75	80
5	2	28	1	16	4	30	5	76	81
6	3	28	1	16	3	31	4	78	82
7	3	28	1	16	2	32	3	79	82
8	4	29	1	16	2	32	3	81	84
9	5	29	1	16	2	32	3	82	85
10	5	29	1	16	2	32	3	82	85
11	5	29	1	16	1	33	2	83	85
12	5	27	1	16	1	32	2	80	82
1	5	27	1	16	2	31	3	79	82
2	5	27	1	16	2	31	3	79	82
3	5	27	1	16	2	31	3	79	82
合計	49	335	12	192	27	377	39	953	992

保 育 事 業 名	延べ利用人数
一時預かり保育	114 人
延 長 保 育	489 人
休 日 保 育	58 人
病 後 児 保 育	94 人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	3 日 入園式 9 日 お楽しみ会 12 日じゃがいも植え 16 日 IFC 任命式
5	8 日 消防署見学 13 日 さつま芋の苗さし 23 日 親子遠足
6	7 日 花火教室 13 日お抹茶教室 19～21 日 保育参観(3 歳以上児) 19 日 レッツ 5 食育 23 日 音楽遊び
7	1 日 プール開き 4 日 特別支援学校小山分校との交流 5 日 セタの集い 8 日 交通安全教室 13 日 菜の花まつり 25 日 一年生交流会
8	25 日 足柄地区体育大会
9	2 日 総合防災訓練 28 日 運動会
10	2 日 民生委員さんによる読み聞かせ 6 日 町民体育大会(雨天により中止) 16 日 お買い物ごっこ 17 日 秋の遠足 23 日 レッツ 5 食育 30 日 小山高校生との交流 31 日 ハロウィン

月	内 容
11	2 日 足柄地区文化祭 7 日 祖父母交流 20 日 青年の家遊び塾 27 日 交通安全教室
12	14 日 生活発表会 18 日 小山高校野球部との交流 23 日 焼き芋
1	6 日 おめでとうの集い 17 日 お抹茶教室 21 日 4,5 歳児保育参観 22 日 足柄小学校訪問 24 日 レストランごっこ 28 日 0,1 歳児保育参観(子育て講座)
2	3 日 節分集会 4 日 IFC 修了式 19 日 2,3 歳児保育参観 21 日 観劇びよびよ 29 日 卒園遠足三島楽寿園(5 歳児) 25 日 小山町生涯学習フェスティバル
3	1 日 小山町生涯学習フェスティバル 3 日 ひな祭りの集い 18 日 お別れ会 20 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

毎月第 1 水曜日 出席者：主任保育士、副主任保育士、専門リーダー保育士

主な議題：保育の質の向上にむけて、ヒヤリハット、苦情・要望対応、リスクマネジメント

●以上児会議

毎月第 2 水曜日 出席者：主任保育士、以上児各クラス代表

主な議題：行事について、共通理解しておきたいことの確認

●未満児会議

毎月第 2 木曜日 出席者：主任保育士、未満児各クラス代表

主な議題：行事について、共通理解しておきたいことの確認

●職員全体会議

毎月第 3 火曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
毎 回	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師、事務より連絡
4 月 1 日	・入園式について ・保育、教育理念の確認 ・マニュアルの確認 ・保育の形態について ・本部からの連絡 ・勤務について
4 月 19 日	・職員間の連携について ・子どもへの声掛けについて
5 月 21 日	・熱中症予防について ・給食当番について
6 月 18 日	・菜の花まつりについて ・熱中症マニュアル ・朝の体操タイムについて
7 月 16 日	・プール遊びと熱中症対策 ・子どもと大人のストレスについて
8 月 22 日	・運動会について ・節約について ・登降園マニュアルと人数確認
9 月 17 日	・運動会について ・登降園マニュアルについて ・一号児への配慮について
10 月 15 日	・運動会後の保育、ねらいについて
11 月 19 日	・発表会について ・県の指導監査について ・巡回相談について
12 月 17 日	・年末保育のまとめ、連携について ・監査報告
1 月 23 日	・年度末の保育に向けて ・小学校との連携
2 月 18 日	・一年の保育のまとめについて ・小山町の国際交流事業について
3 月 18 日	・今年度の振り返り ・新年度準備について ・保護者アンケートについて

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4 月 17 日	小山町特別支援教育研修会「特別支援教育について」	保育士	1
5 月 11 日	小山町こども園の会「発達障害の基本」 「調理師部会」	園 長 保育士 栄養士 調理師	1 8 1 1
5 月 16 日	保育連合会東部支部 施設長研修会 「子どもたちが生きる未来はどのような社会になるか」	園 長	1
5 月 18 日	保育士会東部睦会「保幼小の連携 就学前教育で大切にしたいこと」	園 長	1
5 月 24 日	こども園・小学校合同研修会 「幼稚園教育と小学校教育の接続・連携について」	保育士	1
5 月 28 日	静岡県保育士会「次世代の保育のかたち、保育の未来を探る」	園 長	1
5 月 30～31 日	新規採用職員研修会「保育所・認定こども園等の使命と役割」 「保育者の使命と役割」「子どもと絵本」	保育士	1
6 月 4 日	やまなみ保育士会 「保育業務における職員間のコミュニケーションについて」	園 長	1
6 月 4 日	給食協会御殿場支 衛生講習会「最近の食品衛生事情」	調理師	1
6 月 5 日	小山町こども園の会「リズム研修」	保育士	2
7 月 23 日	小山町特別支援教育研修会「教育・保育の場における合理的配慮」	保育士	1
7 月 23 日	小山町教育講演会「不登校心理と中高生リストカットの現状と対策」	保育士	1
7 月 25 日	保育所職員研修会「子どもと食の豊かな関わり」	保育士	1
7 月 31 日～ 8 月 2 日	キャリアアップ研修「幼児教育」	保育士	1
9 月 2 日	小山町こども園の会研修「クレパスや絵の具の指導方法について」	保育士	2
10 月 3 日	静岡人権啓発センター 「子どもも大人も温かいまなざしで幸せになる子育て・保育」	保育士	2
10 月 8 日	リーダーセミナー「実践力の向上を目指した保育者の専門性について」	園 長	1
10 月 19 日	保育の日研修会	園 長 保育士	1 2
11 月 1 日	栄養管理研修会「給食施設の衛生管理」「給食施設の役割」	栄養士	1
11 月 26 日	民間火防組織指導者消防学校体験入校	保育士	1
11 月	キャリアアップ研修「乳児保育」(e ラーニング)	保育士	1
11 月	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」(e ラーニング)	保育士	1
12 月 20 日	施設長研修会「少子化における保育の動向」 「職員の多様性を活かしチームで実現する保育の質」	園 長	1
12 月	キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」(e ラーニング)	保育士	1
1 月	キャリアアップ研修「幼児教育」(e ラーニング)	保育士	1
1 月	キャリアアップ研修「食育・アレルギー」(e ラーニング)	保育士	1
1 月 16 日	小山町小・中学校生徒指導部研修会	保育士	1
1 月 22 日 2 月 10 日	東部支部保育者研修会「多様な子どもたちの発達支援 子どもの 行動の理解と支援」「インクルーシブ保育と家庭支援」	保育士	1

月 日	内 容	職 種	人数
2 月 6 日	保育士・保育教諭研修会「子どもの育ちを支える食育」	園 長	1
2 月 13 日	小山町特別支援教育研修会「リフレクティング体験」	保育士	1
2 月 15 日	小山町こども園の会「研究発表」	保育士	1
2 月 20 日	やまなみ保育士会「子どもの心に寄り添う保育」	園 長 保育士	1 1
2 月 25 日	保育所職員研修会「気になる子と言わない保育」	園 長 保育士	1 1

5. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
環 境	人・物・場などの環境が相互に関連し合い、子どもの活動が豊かになるよう計画的に構成する。保育環境の整備・向上とともに、施設内外の設備・遊具等の管理をする。	保育室・園外 共同スペースの環境点検 ヒヤリハットシートの管理、集計 花壇や道路側の球根播種作業 芝生の管理 外倉庫の整備と管理 毎月：園内一斉清掃、避難訓練計画	・園内一斉清掃では、日頃行き届かない所にも皆で協力して行えた。また、掃除済みの場所をボードに記入することで進捗状況を把握することができた。 ・外倉庫の玩具点検を月に1回行うことで破損した玩具の撤去、倉庫内の整理整頓ができた。
保健衛生	児童および職員の健康保持・増進のために、施設内外の環境衛生管理を行う。	毎月：定期委員会、月末に各救急箱の回収・点検・補充等の管理・おたより配布、緊急処理セットの確認・補充、毎月2回消毒液の管理 随時：掲示板にて情報提供、感染症拡大予防、空気清浄機清掃 ・歯みがき、手洗い、うがい指導 ・AED、嘔吐処理、エビペン研修	・子どもへの指導として、手洗いとうがいを同時に呼びかけたことで習慣化し、感染症拡大の予防に繋がった。 ・AED研修は消防署に依頼し、人形を使って異物除去の指導を受けた。また、看護師による指導を別日に行い、全職員がどちらかの研修を受けるようにした。
教 育	常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指す。研修会を通して職員間の連携と情報の共有を図る。	毎月 定期委員会、発達に応じた教材・玩具の管理 随時 各年齢に合わせたおはなし広場実施、教材庫整理 ・リトミック、手遊び研修 ・コードモンカレッジ(法令・人権)	・おはなし広場は保育士のスキルアップにも繋がった。 ・コードモンカレッジで法令・人権を学んだ。簡単なテストがあり自己の振り返りができた。グループワークでより深い話し合いができると良かった。
食 育	(児童) 食物を育てる楽しさを味わう。楽しく食事をする。食材に興味・関心をもつ。身近な食材にふれる。	年間 食育ひろば掲示、クッキング保育 ・畑、プランターでの野菜栽培 ・行事食 ・食育アンケート実施	・5歳児の給食当番、4歳児のおにぎり作りを始めることができ、食べることへの意欲が高まった。 ・クッキング後は家でも作ってみた、やってみたいという声があり、家庭との繋がりができた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
広報・写真	壁面装飾により、園児や保護者が季節を感じると共に、会話を生みコミュニケーションをとり、楽しい環境で過ごしてもらう。園での生活風景を写真で記録し保護者へ伝え成長を感じてもらう。園のHPを活用し、行事や子育て支援活動等について発信し地域に知ってもらう。	毎月 画像データ管理、印刷関係備品の管理、HPの更新 年間 壁面装飾、掲示物管理、コドモン導入による書式の検討、管理方法、コドモンによる写真データ管理 ・文化祭、生涯学習フェスティバル参加 ・卒園式シアター制作	・子ども達が季節を感じられるような壁面作りを行った。 ・保護者には個人情報同意書を提出してもらい、職員に対しては常に情報管理に気をつけるよう注意を促した。 ・写真の保存については、残すものを厳選し、各クラスのUSBに保存をしていくことができた。

高嶺の森のこども園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児		4歳児以上		合計		
	保育認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	教育標準時間認定	保育認定	合計
4	9	30	5	15	1	31	6	85	91
5	10	30	5	15	1	31	6	86	92
6	12	30	5	15	1	31	6	88	94
7	12	30	5	15	1	31	6	88	94
8	12	30	5	15	1	30	6	87	93
9	12	30	5	15	1	30	6	87	93
10	12	30	5	15	1	30	6	87	93
11	12	30	5	15	1	30	6	87	93
12	11	30	5	15	1	30	6	86	92
1	11	30	5	15	1	30	6	86	92
2	11	30	5	15	1	29	6	85	91
3	11	30	4	16	1	29	5	86	91
合計	135	360	59	181	12	362	71	1,038	1,109

保育事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	178 人
延長保育	380 人
休日保育	203 人
病後児保育	24 人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	3 日 入園式 19 日 内科健診 26 日 IFC 発足式
5	10 日 救助隊見学 24 日 親子遠足
6	4 日 歯科健診 12 日 交通安全教室 19 日 花火教室 26 日 歯科指導 29 日 奉仕作業
7	1 日 プール開き 5 日 七夕の集い 13 日 もりのこ祭り
8	7 日 森っ子クラブ（高根地区主催）
9	2 日 総合防災訓練（引渡し訓練） 28 日 運動会
10	19 日 瑞穂神社例大祭（上小林） 22 日 内科健診 26 日 高根地区祭り（たかねどんたく） 29 日 遠足ごっこ 30 日 ハロウィン 31 日 保育の会
11	15 日 七五三
12	7 日 生活発表会 20 日 クリスマス会・バイキング給食
月	内 容
1	8 日 おめでとうの集い・もちつき
2	3 日 節分集会 14 日 IFC 修了式 18 日 交通安全教室
3	3 日 ひなまつりの集い 14 日 お別れ会・進級式・バイキング給食 22 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

毎月第 1 水曜日 出席者：主任保育士、副主任保育士、専門リーダー保育士

主な議題：保育の質の向上にむけて、ヒヤリハット、苦情・要望対応、リスクマネジメント
行事について

●以上児会議

毎月第 2 水曜日 出席者：主任保育士、以上児各クラス代表

主な議題：行事について、共通理解しておきたいことの確認

●未満児会議

毎月第 2 木曜日 出席者：主任保育士、未満児各クラス代表

主な議題：行事について、共通理解しておきたいことの確認

●職員全体会議

毎月第 3 火曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
毎 回	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・ヒヤリハット報告 ・栄養課、看護師、事務より連絡
4 月 1 日	・入園式について・保育、教育理念、マニュアルの確認 ・保育園留学について ・保育の形態について ・本部からの連絡 ・勤務について ・英語について
4 月 17 日	・英語について・配膳、下膳について ・消毒について
5 月 15 日	・保育園留学について ・英語について ・ヒヤリハット報告

開催日	主 な 議 題
6 月 19 日	・ もりのこまつりについて ・ プールについて
7 月 17 日	・ 転園児、1 号児申込み受入れについて ・ 保育園留学について ・ 引渡し訓練について
8 月 21 日	・ 運動会について ・ 自己評価について
9 月 18 日	・ 運動会について ・ 参観日について ・ 遠足ごっこについて
10 月 16 日	・ 保護者作業について ・ 監査について
11 月 20 日	・ 発表会について ・ クリスマス会について
12 月 18 日	・ もちつきについて ・ 参観日について
1 月 22 日	・ 節分について ・ 来年度入園、進級について ・ 書類の確認
2 月 19 日	・ ひな祭り会、進級式について ・ 新年度、進級準備について ・ 卒園式について
3 月 19 日	・ 卒園式について ・ 来年度の行事予定について ・ 新年度にむけて

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
5 月 16 日	静岡県保育連合会東部支部施設長研修会 「こども達が生きる未来はどのような社会になるか」	園 長	1
5 月 18 日	静岡県保育士会東部睦会総会・研修「保幼小の連携」	主 任 保育士	1 1
5 月 27 日	御殿場市特別支援研修「保育所等における個別の指導計画」	主 任 保育士	1 1
5 月 28 日	静岡県保育士総会・研修「次世代の保育の形」	主 任	2
6 月 3 日	御殿場市保育の会理論 「マルチリトメント・不適切な保育について」	保育士	4
6 月 4 日	静岡県やまなみ保育士会総会・研修 「保育業務における職員のコミュニケーションについて」	主 任	2
6 月 15 日	御殿場市保育の会理論研修「3つの根っこ」「読み聞かせの大切さ」	保育士	4
6 月 21 日	保育園豪快総会並びに施設長研修 「こども・子育て・保育をワクワクさせよう」	園 長	1
7 月 13 日	御殿場市保育の会リズム研修	保育士	1
7 月 16 日	キャリアアップ研修 eラーニング「マネジメント」	保育士	2
7 月 19 日	保育連合青年支部公開保育研修「一斉保育からの脱却」	主 任	1
7 月 26 日	御殿場市教育フォーラム 2024 「誰一人取り残すことない学びの実現に向けて」	主 任	1
7 月 26 日	施設見学研修会「施設および厨房見学」	栄養士 調理師	1 1
8 月 9 日	御殿場市発達支援研修「医療機関とのつながり」	保育士	1
8 月 27, 28 日	保育連合会中堅保育士 野外活動及び講義	保育士	1
9 月	キャリアアップ研修「子育て支援」	保育士	2
9 月	キャリアアップ研修「幼児保育」	保育士	2

月 日	内 容	職 種	人数
10月30日 ～11月1日	キャリアアップ研修「食育」	栄養士	1
10月31日	御殿場市保育所職員研修「ありのままの自分」・リズム研修	保育士 調理師 栄養士	16 1 1
11月7日	県保育士会危機管理研修「深刻事故、不適切保育」	主 任	1
11月26日	消防学校体験入校研修「応急手当・搬送法」他	主 任	1
12月20日	静岡県保育連合会施設長研修「少子化社会における保育動向」他	園 長	1
2月20日	やまなみ保育士会研修「こどものこころに寄り添う保育」	園 長 保育士	1 1
2月26日	静岡県保育連合会新規採用職員研修 「保育士としてのあり方」他	保育士	3

5. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
環 境	人・物・場などの環境が相互に関連し合い、子どもの活動が豊かになるよう計画的に構成する。 保育環境の整備・向上とともに、施設内外の設備・遊具等の管理をする。	保育室・園外 共同スペースの環境点検 ヒヤリハットシートの管理、集計 教材の点検・補充・整頓 花壇や道路側の球根播種作業 芝生の管理 園庭の草取り、植木の選定 植木の管理 井戸水の管理 非常食、備蓄水の管理 教材倉庫、外倉庫の整備と管理 毎月：園内一斉清掃、避難訓練計画 3月：1年の反省、来年度の計画	・ヒヤリハットは朝の打ち合わせ時に報告し改善、集計した結果は会議などで全職員に伝え共有した。 ・ヒヤリハットの事案を検証し、各クラスや園庭の危険箇所を確認し、改善した。 ・年に4回教材庫の整理を行う事で、教材が使いやすく、必要な物の購入が計画的に出来た。 ・行事で使用する物は行事ごとに整頓し使いやすくし、いらぬ物は処分した。定期的に見直しを行いたい。 ・園内一斉清掃では、日頃行き届かない所にも皆で協力して行えた。 ・保護者にも奉仕作業で年2回協力してもらい園内外の清掃を行った。継続して協力を呼び掛ける。 ・花壇や園庭の草取りは、手の空いた職員や子ども達に手伝ってもらい環境美化に努めた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
保健衛生	児童および職員の健康保持・増進のために、施設内外の環境衛生管理を行う。	毎月：定期委員会、月末に各救急箱の回収・点検・補充等の管理・おたより配布、緊急処理セットの確認・補充、毎月2回消毒液の管理 随時：掲示板にて情報提供、感染症予防、空気清浄清掃 4月 予防接種表配布、病気・アレルギー児童対応リスト配布、内科健診 5月 歯科健診、手洗い指導、エビペン講習、嘔吐処理講習 6月 冷暖房目安表示、AED講習 7月 熱中症対策 9月 衛生士による歯科指導 8・10月 園児への保健指導 12月 吐処理研修、空気清浄機管理 1月 手洗い動 2月 園児への保健指導、インフルエンザ注意喚起の掲示、室内の温度・湿度の管理 3月 1年の反省、来年度の計画	・感染症対策として、園内消毒、換気をこまめに行った。また、感染予防の一環として、手洗い指導を以上児対象に行えた。 ・嘔吐処理研修実施。資料を配布し動画を視聴。質疑応答を行う。全員受けられるように予備日を設けた。 ・手洗い指導はブラックライトを使用しこども達にわかりやすく説明できた。今後も続けて指導したい。 ・エビペン研修、AED研修は職員全体対象に看護師の指導の元行った。毎年全職員が研修を受けられるように計画したい。 ・空気清浄機の清掃を看護師中心にこまめに行った。 ・湿気、カビ対策としてアルコール消毒こまめに行い、清潔を保てるように努めた。
教 育	常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指す。研修会を通して職員間の連携と情報の共有を図る。	毎月 定期委員会、発達に応じた教材・玩具の管理 随時 各年齢に合わせたおはなしの会実施、外部研修資料配布 4月 指導計画の確認と実践 5月 研修、内容決定 6月 全体研修「こどもの人権に対するセルフチェック」 10月 おはなしの会(未満児) 11月 おはなしの会(以上児) 3月 1年間の反省、来年度の計画 おはなしの会(冬) 園内研修「保育指針」の確認	・外部研修への積極的な参加を呼びかけ、研修報告を全職員で回覧出来た。 ・園外研修は全職員で人権についてのセルフチェックを実施し、結果を分析してこどもに対する接し方を全職員で確認し、見直した。日頃の保育に生かしていきたい。 ・読み聞かせ(おはなしの会)を以上児、未満児に分け2回実施した。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
食育	(児童)食物を育てる楽しさを味わう。 楽しく食事をする。 食材に興味・関心をもつ。身近な食材にふれる。	年間 食育ひろば掲示、クッキング 5月 野菜の苗植え(ナス、キュウリ、ピーマン、トウモロコシ、カボチャ、すすいか) 6月 野菜の収穫 7月 食育だより夏号 8月 夏野菜収穫 10月 食育ボード作成 11月 焼き芋祭り 12月 クリスマスバイキング 1月 もちつき、食育ボード 3月 ひな祭り献立、 リクエストメニューバイキング 食育アンケート、1年の反省、来年度計画	・畑(野菜作り)はクラスの先生を中心に計画、実行することができた。 ・栄養士、調理師がクラスを回り子どもの食べ方、残食のチェックを行う事で、こども達の嗜好や食べる量を把握できた。 ・栄養士が献立に使われている食材をこども達に説明することで、食への興味が広げられた。 ・こども達と野菜、苗植え、水やりを行い野菜の生長を楽しめた。 ・収穫した野菜は調理してもらい味わう事ができた。 ・食育だよりや食育ボードを作成することで保護者にも食育について発信する言事が出来た。 ・もちつきでは杵と臼でもちが出来る様子を見たり、こども達も参加してつく体験を楽しめた。 ・リクエストメニューをバイキング形式にし、異年齢児交流が図れた。
広報・写真	壁面装飾により、園児や保護者が季節を感じると共に、会話を生みコミュニケーションをとり、楽しい環境ですごしてもらう。園での生活風景を写真で記録し保護者へ伝え成長を感じてもらう。園のHPを活用し、行事や子育て支援活動等について発信し地域に知ってもらう。	毎月 画像データ管理、印刷関係備品の管理、HPの更新 年間 壁面装飾、掲示物管理、コドモン導入による書式の検討、管理方法、コドモンによる写真データ管理 4月 データ管理方法の確認 6月 ドキュメンテーション掲示 11月 発表会壁面製作 2月 卒園式シアター製作、お散歩マップ製作、掲示 3月 1年間の反省、来年度の計画	・子ども達が季節を感じられるような壁面の張替えを年4回(春、夏、秋、冬)行った。 ・個人情報の情報管理に努めるよう、職員には確認した。 ・行事や保育の出来事などの写真を撮りファイルに入れ、保護者にも園での様子が発信、ドキュメンテーション化してわかりやすくした。ITC化を図る事で、業務の改善に努めた。 ・誕生日メダル、誕生表を早めにとがし、作業の効率が良くなった。

附属明細書 該当事項はありません。

以上